

国語科

I 国語科の学習目標

- (1) 言語能力を高めることによって、思考力を伸ばし、心情を豊かにし、豊かな人間性を身につける。
- (2) 文章表現の読解を通して、他者の考え方を理解するとともに、自己の考えを確立し、生きる上での判断力を身につける。
- (3) 優れた国語表現を学ぶとともに、自分の目ではっきりと対象を捉え、それを国語で適切に表現する力を身につける。
- (4) 現代日本語の正しい知識を学び、適切に運用する技能を身につける。
- (5) 古典に描かれた世界を鑑賞することによって、日本の伝統文化に興味・関心を持ち、古の人の価値観・心情を理解する。

II 国語科の6年間の科目構成と学習内容

		「科目」と学習内容	発展的な内容、特色ある活動、関連する行事等
中学段階	1年	思考力・判断力・表現力 ・言語活動の充実による思考力の育成 ・「書くこと・話すこと」を含めた表現力の育成 ・自己の考えに基づく判断力の育成 知識技能の取得 ・現代日本語の知識・技能の充実 ・古文・漢文領域の知識の習得 ・楷書の基本 学びに向かう力・人間性 ・現代の日本文化、古典文化に興味を持つ。・読書活動	発展的内容 ・識字能力の基礎（漢検4～3級レベル） ・口語文法の基礎(単語と品詞、活用のある自立語) ・資料の活用 口語文法 古文の知識 竹取物語 漢文の知識 中国の名句・名言、故事成語
	2年	思考力・判断力・表現力 ・言語活動の充実による思考力の育成 ・「書くこと・話すこと」を含めた表現力の育成 ・他者の考えを理解し、問題を解決する判断力の育成 知識技能の取得 ・現代日本語の知識・技能の充実。 ・古文・漢文領域の知識の習得。・行書の基本 学びに向かう力・人間性 ・現代の日本文化、古典文化を理解する。・読書活動	発展的内容 ・識字能力の充実（漢検3～準2級レベル） ・口語文法の基礎（助詞・助動詞） ・文語文法の基礎（単語と品詞、活用のある自立語） ・ポスターセッション 口語文法 文語文法 枕草子、平家物語、徒然草 百人一首① 漢詩文の世界 漢詩
	3年	思考力・判断力・表現力 ・言語活動の充実による思考力の育成 ・「書くこと・話すこと」すべてを含めた表現力の育成 ・他者と話し合い、問題を解決する判断力の育成 知識技能の取得 ・現代日本語の知識・技能の充実。 ・古文・漢文領域の知識の習得。・生活を豊かにする文字 学びに向かう力・人間性 ・今昔の日本人の価値観・美意識を理解する。・読書活動	発展的内容 ・識字能力の充実（漢検準2～2級レベル） ・文語文法の基礎（助動詞、助詞、副詞） ・訓点、再読文字 ・プレゼンテーション 文語文法 和歌、奥の細道、百人一首②→百人一首大会 漢文の世界 論語、漢楚の興亡
高校段階	4年	〈国語総合〉 現代文領域 ・読解の充実、応用 国語としての教養の充実 古文領域 ・古文読解の充実 文語文法の完成（2年3年の復習、敬語法） 漢文領域 ・漢文訓読の充実	・識字能力の充実（漢検2級レベル） ・詩歌の歴史（万葉～近代短歌・近代俳句・近代詩まで） （日本文化概論の前段階として） ・文語文法の充実 ・語彙力の充実（後期） ・句法の学習 ・資料の活用 百人一首、基本漢文 日本文学史、古文単語集、現代文入試問題集基礎編
	5年	〈現代文〉 ・読解の充実、応用 ・言葉の力の充実 〈古典〉 古文領域 ・古文読解の充実(徒然草、更級日記等抄本講読) 漢文領域 ・漢文訓読の完成	近現代文学史（除詩歌の歴史） ・語彙力の充実、問題演習 ・古典文学史（除詩歌の歴史） ・訓点、再読文字、句法等の演習 ・資料の活用 入試頻出現代語、古文抄本、古文入試問題集基礎編
	6年	〈現代文〉（文系・理系） ・読解の応用 ・問題解決能力の向上 〈古典講読〉（文系） 古文領域 ・古文読解の充実、応用（大鏡、源氏物語等抄本講読） 漢文領域 ・漢文訓読の充実、応用	〈自由選択科目〉 ・共通テスト入試問題演習（文系・理系） ・古漢入試問題演習（文系） ・現代文入試問題演習（文系） ・小論文演習（文系・理系）

* 6年生の自由選択科目は受講希望者数によって変更があり得ます。

教科名 国語科
 科目名 国語
 対象 2学年全員

I 学習到達目標

- 1 日本語能力に基づく思考力・判断力・表現力の習得。
- 2 日本語に関する知識・技能の習得。日本語・日本文化に興味・関心を持つ。

II 授業の進め方（授業形態等）

- 1 一斉授業
- 2 グループワーク
- 3 ペアワーク

III 教科書・補助教材

教科書 光村図書「国語 2年」 東京書籍「新編 新しい書写 1・2・3年」
 副教材 浜島書店「国語便覧 東京都版」 とうほう「中学生の文法」 京都書房編集部編「小倉百人一首暗唱シート」 とうほう「級別漢字クラブ」
 文英堂「原色小倉百人一首」 第一学習社「チャレンジ常用漢字」 明治書院「現代を読む はじめての評論文20選」
 受験研究社「中学 国語力を高める語彙1560」

IV 学習計画

	月	学 習 内 容		授業 時数	備考	
		考 査	A「知識・技能」B「思考力・判断力・表現力」C「主体的に学習に取り組む態度」			
	春休み テスト	宿 題 テスト	「1年生で学習したことのまとめ」	1		
一 学 期	4 5	1学期 中 間 考 査	登場人物の関係をとらえる 教P14「アイスプラネット」（小説） 意見と根拠の結び付きを確かめる 教P26「問いを立てながら聞く」 興味・関心を引く提案をする 教P54「魅力的な提案をしよう」 行書について学ぶ 書写教P48「行書」 副「はじめての評論文20選」	情景描写の巧みさを読み味わう 作者の物の見方感じ方について自分の考 えを持つ 伝えたい事実を明確にしながら表現する 教P28「枕草子」（古文）	2 9	
	6 7	1学期 期 末 考 査	多様な方法を用いて、さまざまな情報を収集する 教P34「多様な方法で情報を集めよう」 文章の構成や展開について理解を深める 教P42「クマゼミ増加の原因を探る」（報告） 登場人物の言動や情景を表す語句に着目する 教P92「盆土産」（小説） 行書と仮名について学ぶ 書写教P56「行書と仮名」 副「はじめての評論文20選」	古典独特の調子やリズムに慣れ、作品を 読み味わう 登場人物の心情を想像し、描かれたもの の見方や考え方にふれる 教P150「平家物語」（古文）	3 5	
	夏休み	宿 題 テスト	副「チャレンジ常用漢字」「実力養成問題」	1		
二 学 期	9 10	2学期 中 間 考 査	相手や目的を考えて手紙を書く 教P112「気持ちを込めて書こう」 論の展開に着目して筆者の主張を捉える 意見と根拠が明確な意見文を書く 教P124「モアイは語る」（論説） 楷書と行書について 書写教P68「楷書と行書」 副「はじめての評論文20選」	古典独特の調子やリズムに慣れ、作品を 読み味わう 作者のものの見方や考え方にふれる 登場する人物の特徴を捉え、自分の考え を明確にして文章を書く 教P142「徒然草」（古文）	2 9	
	10 11 12	2学期 期 末 考 査	筆者の考えを読み取り、自分の考えを深める 教P74「言葉の力」（随筆） 構成や場面の展開の工夫に着目する 興味関心をひく紹介をする 教P84「星の王子さま」（物語） 書写教P72「生活を豊かにする文字」	和歌に親しみ、古典独特の調子やリズム に慣れる 作者の心情を理解し、昔の人の感じ方や 考え方にふれる 「百人一首」51～100（古文） 副「小倉百人一首暗唱シート」 「原色小倉百人一首」	4 0	
	冬休み 宿 題	宿 題 テスト	副「チャレンジ常用漢字」「実力養成問題」「百人一首」	1		
三 学 期	1 2 3	3学期 学 年 末 考 査	人物像の変化を捉える 教P196「走れメロス」 自分の知識や体験と比べて考える 教P170「君は『最後の晩餐』を知っているか」（評論）	漢詩の内容や表現について、根拠を明確 にして自分の感想をまとめる 漢詩特有の言葉やリズムに留意しながら 朗読する 漢詩に描かれている情景や心情について 想像している。 教P162「漢詩の風景」（漢文）	3 9	
				1 7 5		
評 価	1・2学期は2回、3学期は1回の100点満点の定期テスト、および夏季・冬季の休みのあとに宿題テストを行い、 普段の提出物や発表の様子などとともに総合評価を行う。					

社会科

I 社会科の学習目標

◆地理・歴史分野

- (1) 我が国及び世界の形成と歴史的過程について理解と認識を深める。
- (2) 我が国及び世界の生活と文化の地域的特色について理解と認識を深める。
- (3) 地理や歴史を学習することを通して、多角的・多面的な思考力を培い国際社会に主体的に生きる力を養う。
- (4) 民主的、平和的な国家・社会の一員として、必要な自覚と資質を養う。

◆公民分野

- (5) 広い視野に立って、現代社会について主体的に考察し、理解を深める。
- (6) 人間として望ましい在り方について学び、主体的に意義ある人生を送れるようにする。
- (7) 民主的、平和的な国家・社会の有為な形成者をめざす。
- (8) 政治的教養を高め、個人の尊厳を重んじ人格の完成をめざす実践的意欲を培う。

II 社会科の6年間の科目構成と学習内容

		「科目」と学習内容	発展的な内容、特色ある活動、関連する行事等
中学段階	1年	<ul style="list-style-type: none"> ◆地理分野 <ul style="list-style-type: none"> ・世界の姿 ・世界各地の人々の生活と環境 ・世界の諸地域 ・日本の姿 ◆歴史 <ul style="list-style-type: none"> ・原始と古代の日本 ・中世の日本 	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGsを意識した課題解決型の授業の展開（貧困と教育、環境問題と経済成長など）。 ・日本と世界とのつながりを意識したテーマ型の討論・探究活動の展開（東南アジアにおける日本企業の進出、今後の日米関係を考えるなど） ・総合「上野・浅草」探究 ・世界のさまざまな地域の調査 ・歴史討論 ・ノートの作り方指導
	2年	<ul style="list-style-type: none"> ◆地理分野 <ul style="list-style-type: none"> ・世界と比べた日本の地域的特色 ・日本の諸地域 ・身近な地域の調査 ◆歴史 <ul style="list-style-type: none"> ・中世の日本 ・近世の日本 ・近代の日本と世界 	<ul style="list-style-type: none"> ・地形図、ハザードマップを活用し地域の防災についての課題解決型授業。 ・日本の領域と領土問題についての探究活動。 ・日本に視点をおいたSDGsを意識した課題解決型の授業の展開。 ・言語能力を高める活動を入れた歴史学習(時代考証スピーチ)・歴史討論
	3年	<ul style="list-style-type: none"> ◆歴史 <ul style="list-style-type: none"> ・近代の日本と世界 ・二度の世界大戦と日本 ◆公民 <ul style="list-style-type: none"> ・現代社会 ・人権の尊重と日本国憲法 ・国民主権と民主政治 ・私たちの暮らしと経済・国際社会 	<ul style="list-style-type: none"> ・史資料の読解 ・写真資料の読み取り ・地図の読み取り ・協同的論述課題学習 ・社会問題についての討論 ・時事問題
高校段階	4年	《地理総合》【全員必修】 ・地図と地理情報システム活用（GIS） ・国際理解と国際協力 ・防災と持続可能な社会の構築（ESD） 《歴史総合》【全員必修】 「歴史の扉」、「近代化と私たち」、「国際秩序の変化や大衆化と私たち」、そして「グローバル化と私たち」の4項目から近現代の歴史を考察	<ul style="list-style-type: none"> ・大学入試問題の活用 ・図・表・写真資料の読み取り ・主体的、実践的な課題解決能力の育成
	5年	《世界史探究》 近代ヨーロッパの成立～帝国主義とアジアの民族運動 《日本史探究》日本文化のあけぼの～武家社会の成長 《公共》「公共の扉」、「自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち」、「持続可能な社会づくりの主体となる私たち」の項目ごとに現代社会の諸課題を捉え、他者との議論を通じて多面的・多角的に考察する。	<ul style="list-style-type: none"> ・世界史の中の日本史の展開 ・史資料の読解 ・地図の読み取り ・写真資料の読み取り
	6年	《地理探究》【文系必修選択】世界の地形、世界の諸地域 《世界史探究》【文系必修選択】 諸地域世界の交流～アジア諸地域の動揺 《日本史探究》【文系必修選択】 日本文化のあけぼの～幕藩体制の動揺 《地理探究》《世界史探究》《日本史探究》【自由選択】 問題演習（地歴・公民科2科目目選択者用） 《政治経済》【文系理系共通履修】 民主政治の基本原則～現代社会の諸課題 《政治経済》【文系理系自由選択】共通テスト問題演習 《倫理》【文系理系自由選択】源流思想、西洋思想、日本思想、現代社会の諸課題	<ul style="list-style-type: none"> ・大学入試問題を活用した図・表・写真資料などの深い読み取り。 ・多面的、多角的な思考方法と社会的な見方、考え方。 ・持続可能な社会を形成する個人としての社会参画意識。

* 6年生の自由選択科目は受講希望者数によって変更があります。

教科名 社会科
 科目名 地理・歴史
 対象 2学年全員

I 学習到達目標

- 1 日本や世界の地域の諸事象を位置や空間的な広がりとの関わりで捉え、環境条件や人間の営みなどと関連づけて考察し、地域的特色を捉えるための視点や方法を身に付けるとともに、地方的特殊性と一般的共通性は諸条件の変化などに伴って変容していることを理解する。
- 2 様々な資料を適切に活用して地理的事象を多面的・多角的に考察し、公正に判断するとともに、適切に表現する能力や態度を身につける。
- 3 歴史に見られる国際関係や文化交流のあらましを理解し、わが国と諸外国の歴史や文化が相互に深く関わっていることを考えるとともに、他民族の文化、生活などに関心をもち、国際協調の精神を養う。

II 授業の進め方（授業形態等）

- 1 一斉授業 2 グループワーク 3 討論

III 教科書・補助教材

教科書（地理的分野）「新しい社会 地理」東京書籍（歴史的分野）「中学歴史 日本と世界」山川出版社
 （地図帳）「中学校社会科地図」帝国書院
 副教材（地理的分野）「アドバンス中学地理資料」帝国書院 「中学必修テキスト地理」文理
 （歴史的分野）「グラフィックワイド 歴史」東京法令 「新中学問題集 歴史Ⅱ」教育開発出版

IV 学習計画

	月	学 習 内 容		授業時	備考		
		考 査	「教科書」の学習内容			副教材・その他の学習内容	
一学期	4 5	1学期 中間 考 査	◆地理的分野 第1章 地域調査の手法 P140～155 第2章 日本の地域的特色 第1節地形から見た日本の特色 P158～161 第2節気候から見た日本の特色 P162～163 第3節自然災害と防災・減災への 取り組みP164～167	◆歴史的分野 第4章 近世の日本 第2節近世社会の成立 P112～119 第3節幕藩体制の確立 P120～127	◆地理 アドバンス P102～109 必修テキスト P142～113 ◆歴史 安土桃山時代・江戸時代 P94～111	17	2年生総合テーマ「国内の地域間の違いを知る」の進行と関連付けながら多少の分野の入れ替えを行う。
	6 7	1学期 期 末 考 査	第4節人口から見た日本の特色 P168～169 第5節資源・エネルギーから見た 日本の特色 P170～172 第6節産業から見た日本の特色 P172～173 第7節交通・通信から見た 日本の特色P174～175	第4節幕藩体制の展開 P128～133 第5節幕藩体制の動揺 P136～147	◆地理 アドバンス P110～137 必修テキスト P114～125 ◆歴史 江戸時代 P112～132	27	
	夏休み 宿 題		身近な地域調査（防災）、歴史に関するレポート				
二学期	9 10	2学期 中間 考 査	日本の諸地域 第1節 九州地方 P186～196 第2節 中国・四国地方 P197～208	第5章近代の日本と国際関係 第1節 欧米諸国の近代化と 日本への接近 P156～165	◆地理 アドバンス P138～151 必修テキスト P126～137 ◆歴史 世界・近世P133～140	25	日本人の生活や生活に社会の動き及び各地域の地理的条件、身近な地域の歴史とも関連付けて指導する。博物館等の見学・調査を通じて、生活文化の展開を具体的に学ぶ事ができるようにする。
	10 11 12	2学期 期 末 考 査	第3節 近畿地方 P209～220 第4節 中部地方 P221～232 第5節 関東地方 P233～244	第2節 開国と幕末の動乱 P166～171 第3節 立憲国家への道 P172～189	◆地理 アドバンス P152～175 必修テキスト P138～155 ◆歴史 江戸・明治時代P141～155	37	
	冬休み 宿 題						
三学期	1 2 3	3学期 学 年 末 考 査	第6節 東北地方 P245～256 第7節 北海道地方 P257～268 第4章 地域のあり方 ・身近な地域調査 P270～281 (地形図の使い方を含む)	第4節 日清・日露戦争と アジア P190～199 第5節 近代日本の産業と 文化 P202～209	◆地理 アドバンス P176～199 必修テキスト P156～167 ◆歴史 P156～171	34	
						140	
評 価	学期毎の評価、学年末の評定については、以下の資料を用いて、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点から総合的に評価を行う。 ①定期考査（各学期、年間5回）、 ②提出物（宿題・ノート、課題プリント） ③学習の様子（授業参加態度、提出物状況、関心・意欲等）						

数学科

I 数学科の学習目標

- (1) 数量や図形などに関する基礎的な概念や原理、法則の理解を深め、数学的な表現や処理の仕方を習得する。
- (2) 事象を数学的に考察する能力を高めながら、数学的な見方・考え方を育む。
- (3) 数学的な活動の楽しさ、数学的な見方や考え方のよさを知り、それらを進んで活用する態度を育てる。
- (4) 6年間の学習を系統的にまとめ、それらを実践的に活用できるよう、多面的な見方・考え方や論理的に考える力を養い、問題解決能力を高めていく。

II 数学科の6年間の科目構成と学習内容

		「科目」と学習内容	発展的な内容、特色ある活動、関連する行事等
中学段階	1年	[代数] 正負の数・式の計算（文字式、多項式の計算） 方程式・不等式（1次方程式、連立方程式、不等式の性質、1次不等式、連立不等式） 1次関数（比例、反比例、1次関数） [幾何] 平面図形・空間図形（作図、いろいろな立体、立体の切断）	・習熟度別少人数制授業（2クラス3展開中心） ・発展的な内容 [代数] 単項式の乗除、文字式の利用、連立方程式、連立方程式の利用、1次関数（中2） 1次不等式、不等式の利用、連立不等式（数I） ・関連する行事 数学検定（希望者）
	2年	[代数] 式の計算（展開・因数分解） 平方根（根号を含む式の計算、有理数と無理数） 2次方程式（2次方程式の解き方、その応用） データの活用（データの散らばりと四分位範囲） 確率と標本調査（場合の数、確率の計算、標本調査） [幾何] 図形と合同（平行線と角、三角形の合同） 三角形と四角形（二等辺三角形、正三角形、平行四辺形） 図形と相似（三角形の相似、相似な図形の面積比・体積比）	・習熟度別少人数制授業（2クラス3展開中心） ・発展的な内容 [代数] 展開・因数分解、2次方程式（中3・数I） 平方根、有理数と無理数（中3） 順列と組合せ、確率（数A） [幾何] 三角形の辺と角（数A） ・関連する行事 数学検定（希望者）
	3年	[代数] 数と式（多項式の展開・因数分解の復習） 関数（のグラフと応用、最大・最小） 2次方程式・2次不等式（2次方程式・不等式の解き方） [幾何] 線分の比と計量（線分の比と面積比） 円（三角形の五心、円周角の定理、内接四角形、接線、方べきの定理、2つの円） 三平方の定理（平面図形、空間図形） *中学3年間のまとめ（高校入試問題演習）	・習熟度別少人数制授業（一部） ・発展的な内容 [代数] 多項式の計算（数I・数II） 2次関数、2次不等式（数I） [幾何] 図形の相似と面積比・体積比（数A） メネラウス・チェバの定理（数A） 円周角の定理、内接四角形、接線（数A） ・関連する行事 数学検定（希望者）
高校段階	4年	[数学I] 2次関数（2次関数の最大・最小、2次方程式・不等式） 図形と計量（三角比の拡張、正弦定理・余弦定理） データの分析（分散・標準偏差、相関係数、仮説検定） [数学A] 場合の数・確率（順列・組合せ、反復試行、条件付き確率） 図形の性質（三角形の五心、円の性質、作図、空間図形） 数学と人間の活動 （倍数・約数、不定方程式、n進法、整数問題） [数学II] 式と証明（二項定理、相加・相乗の関係） 複素数と方程式（解と係数の関係、剰余の定理・因数定理） 図形と方程式（点と直線、円の方程式、軌跡と領域）	・習熟度別少人数制授業を実施（予定） ・発展的な内容 [数学I] 平均・分散の変数変換（数B） 仮説検定（数B） いろいろな式（数II） [数学A] 整数、方程式（数II） [数学II] 複素数と方程式（数II） 図形と方程式（数II） *各クラスで大学入試問題演習を適宜実施。
	5年	[数学II] いろいろな関数（三角関数、指数関数・対数関数） 微分法と積分法（微分係数、導関数、不定積分、面積） [数学B] 数列（数列とその和、漸化式、数学的帰納法） 統計的な推測（仮説検定、確率分布） [数学C] ベクトル（平面ベクトル、空間ベクトル） （理系のみ）複素数平面（極形式、ド・モアブルの定理） [数学III]（理系） いろいろな関数（分数関数、無理関数、逆関数） 極限（数列の極限、関数の極限）	・習熟度別少人数制授業を実施（予定） ・発展的な内容 [数学II] 積・商の微分、合成関数の微分（数III） 理系のみ 分数関数・無理関数・逆関数（数学III） 数列の極限・関数の極限（数学III） [数学B] 理系：複素数平面（数III） 文系：数学IAIIB問題演習 *各クラスの進路に応じた大学入試問題演習を実施。
	6年	[数学C] 式と曲線（2次曲線、媒介変数表示と極座標） [数学III]（理系） 微分法（三角関数・指数関数・対数関数の微分） 微分法の応用（導関数の応用、速度・加速度） 積分法（不定積分の基本性質、置換積分法、部分積分法） 積分法の応用（面積、体積、曲線の長さ） [数学II]（文理系） 国公立2次・私大を志向した数学IAIIB演習 [自由選択科目]（文理系、文系） 国公立2次・私大を志向した数学IAIIB演習	・生徒の能力や適正、進路希望に応じた選択履修を実施。 [必修科目] 数学III（理系：国公立・私大2次対策） 数学II（文理系：国公立・私大2次対策） [自由選択科目] 数学演習α（文理系、文系） 数学演習β（文理系、文系） 数学演習γ（文理系、文系）

* 6年生の自由選択科目は受講希望者数によって変更があり得ます。

教科名 数学科
 科目名 **数学**
 対象 2 学年全員

I 学習到達目標

- 1 数学の中学校段階における基礎・基本となる事項の知識と技能を習得する。
- 2 数学的な見方や考え方のよさを知るとともに、それらを活用する態度を養う。
- 3 数学的活動を通して、数学を学ぶ楽しさを実感し、数学に関する興味・関心を高める。

II 授業の進め方（授業形態等）

- 1 総授業数 年間授業時数 140 時間
- 2 授業形態 習熟度別少人数制 2 クラス 3 展開中心

III 教科書・補助教材

教科書 「中学数学2」教育出版
 補助教材「体系数学1代数編」「体系数学1幾何編」「体系数学2代数編」「体系数学2幾何編」数研出版 「新中学問題集 発展 数学3」教育開発出版
 「体系問題集数学1幾何編〔発展〕」「体系問題集数学2代数編〔発展〕」「体系問題集数学2幾何編〔発展〕」 数研出版

IV 学習計画

学 期	月	学 習 内 容		授業時数	備考	
		考 査	「体系数学」の学習内容 副教材・その他の学習内容			
一 学 期	春休み 宿 題	宿 題 テスト	春季休業課題（1年次の復習）	1		
	4	1 学期 中 間 考 査	『体系数学2 代数編』 第1章「式の計算」 P4～23 1 多項式の計算 2 因数分解 3 式の計算の利用 『体系数学1 幾何編』 第3章「図形の性質と合同」 P70～97 1 平行線と角 2 多角形の内角と外角	『体系問題集 数学2 代数編』 完成ノート 式の計算／平方根 『体系問題集 数学1 幾何編』 完成ノート 図形と合同 その他、配布されたプリント	10～12 10～12	
	6	1 学期 期 末 考 査	『体系数学1 幾何編』 第3章「図形の性質と合同」 P70～97 3 三角形の合同 4 証明のすすめ方 第4章「三角形と四角形」 P98～134 1 二等辺三角形 2 直角三角形の合同 3 平行四辺形 4 平行線と面積 5 三角形の辺と角の大小	『体系問題集 数学1 幾何編』 完成ノート 図形と合同 『体系問題集 数学1 幾何編』 完成ノート 三角形と四角形 その他、配布されたプリント	14～16 10～12	
	7					
	夏休み 宿 題	宿 題 テスト	夏期休業課題（入学時～2年1学期の復習）	1		
二 学 期	9	2 学期 中 間 考 査	『体系数学2 代数編』 第2章「平方根」 P32～61 1 平方根 2 根号を含む式の計算 3 有理数と無理数 『体系数学2 代数編』 第3章「2次方程式」 P64～85 1 2次方程式の解き方 2 2次方程式の利用	『体系問題集 数学2 代数編』 完成ノート 式の計算／平方根 『体系問題集 数学1 代数編』 完成ノート 2次方程式 その他、配布されたプリント	12～14 12～14	
	11 12	2 学期 期 末 考 査	『体系数学2 幾何編』 第1章「図形と相似」 P4～43 1 相似な図形 2 三角形の相似条件 3 平行線と線分の比 4 面積比体積比 5 相似の利用	『体系問題集 数学2 幾何編』 完成ノート 図形と相似 その他、配布されたプリント	26～30	
	冬休み 宿 題	宿 題 テスト	冬期休業課題（入学時～2年2学期の復習）	1		
三 学 期	1	学 年 末 考 査	第5章「データの活用」 P122～133 3 データの散らばりと四分位範囲 第6章「確率と標本調査」 P134～165 1 場合の数 2 確率の計算 3 標本調査	『体系問題集 数学2 代数編』 完成ノート データの活用 / 確立と標 本調査 その他、配布されたプリント	13～15 13～15	
	2					
	3					
				計 140 (4単位)		
評 価	学期毎の評価、学年末の評定については、以下の資料を用いて、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点から総合的に評価を行う。 ①定期考査（各学期、年間5回）、②宿題テスト（春休み、夏休み、冬休み、年間3回）、③確認テスト（単元に対応） ④提出物（課題ノート、課題プリント）、⑤学習の様子（授業参加態度、提出物状況、関心・意欲等）					

理科

I 理科の学習目標

- (1) 目的意識をもって実験・観察などを行い、探究心を高め、自然を主体的に学習する態度を育成する。
- (2) 実験・観察を通して探究活動を行い、科学的に自然を調べる方法を身につけ、問題解決能力を育成する。
- (3) 自然の事物・現象に見られる原理・法則等を理解し、自然について分析的、総合的に考察する能力を養い、科学的な自然観を育成する。
- (4) 科学や自然と人間とのかかわりの視点に立ち、自然を総合的にみる見方や、科学的なものの見方を育成する。

II 理科の6年間の科目構成と学習内容

		「科目」と学習内容	発展的な内容、特色ある活動、関連する行事等
中学段階	1年	中学の内容を、物理・化学・生物・地学の4つの分野に分け、高校の内容との関連を図りながら、系統立てて学習させる。 《物理》光・音・力による現象 《化学》身のまわりの物質 《生物》いろいろな生物とその共通点 《地学》大地の変化	《物理》身近な物理現象について、高校の範囲まで踏み込んだ実験を扱う 《化学》物性および状態変化について、高校化学の内容を見直し発展的な内容も扱う。 《生物》ルーペや顕微鏡を用いた観察、シダ植物の生活環や無脊椎動物の分類もあつかう 《地学》地震波の伝わり方のちがひ、地球史、プレートテクトニクスを扱う
	2年	《物理》 電気の世界、運動とエネルギー 《地学》 天気とその変化、地球と宇宙	《物理》静電気、運動とエネルギーについて、定量的に扱う 《地学》天気図の作成、月や惑星の表面の様子、宇宙の構造と進化
	3年	《化学》 化学変化と原子・分子、化学変化とイオン 《生物》 生物の体のつくり、生命の連続性、自然と人間	《化学》 ・原子の構造について発展的に扱う。 ・物質の種類と化学反応式について発展的に扱う ・酸化還元反応について発展的に扱う。 《生物》 ・細胞は電子顕微鏡で観察した場合にのみ観察できる内容についても取り扱う ・酵素の特徴についても扱う ・遺伝は遺伝の法則についてくわしく取り扱う
高校段階	4年	《物理基礎》必修 2単位 ・物体の運動とエネルギー ・さまざまな物理現象とエネルギーの利用 《化学基礎》必修 2単位 ・化学と人間生活(単体・化合物、熱運動と物質三態など) ・物質の構成(原子・周期表・分子・イオン・化学結合) ・物質の変化(物質質量、化学反応式、酸・塩基、酸化・還元など)	《物理基礎》 ・中学までに学んでいる自然の見方、探求の仕方を再確認し、その方法を用いて、身近な生活にみられる運動とエネルギー、熱、波、電気について学習する。 《化学基礎》 ・「物質の構成と化学結合」「物質の変化」の学習を通して、物質とその変化への関心を持ち、目的意識を持って観察・実験を行い、科学的に探求する態度を養う。
	5年	《物理 理系Ⅰ必修 4単位》 物理基礎の応用として、平面内の運動、剛体、運動量、円運動・単振動・惑星の運動、熱と気体、電磁気について学ぶ。 《生物 理系Ⅱ必修 4単位》 「生命現象と物質」「遺伝子の働き」「生殖と発生」および「生物の環境応答」の分野の項目を学習する。 《化学基礎 文系・理系Ⅰ 必修選択3単位》 「物質の構成と化学結合」「物質の変化」について中心に学習する。 《地学基礎 文系・理系 必修選択3単位》 「固体地球とその変動」「移り変わる地球」「大気・海洋」「宇宙の構成」「自然との共生」	
	6年	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 24%;"> <p>自選 物理 理系 2 単位 5年次の学習内容に引き続き、物理的な事物・現象についての観察、実験などを行い、自然に対する関心や探究心を高め、物理学的に探究する能力と態度を育むと共に、基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を身につける。 ここでは、電磁気、原子について学ぶ。また、私大・国公立試験の入試問題演習等の練習・解説を通して、理工系大学進学に対応した力を養成する。</p> <p>自選 物理基礎 文理系・文系 1 単位 4年次に学習した『物理基礎』の学習内容を補填、センター試験『物理基礎』に対応した演習</p> </div> <div style="width: 24%;"> <p>自選 生物 理系・文理系 2 単位 5年次の学習内容に引き続き、「生態と環境」「生物の進化と系統」の分野の項目についての復習と、大学入学共通テスト、国公立二次試験、私大入試に対応し、副教材などを活用した問題演習を行う。</p> <p>自選 生物基礎 文系・文理系 1 単位 大学入学共通テストに対応し、副教材などを活用した問題演習を行う。</p> </div> <div style="width: 24%;"> <p>化学 理系・文理系必選 6 単位 1 化学平衡状態の存在および法則性、種々の条件変化によるその移動について理解する。 2 無機物質について周期表を基に、金属・非金属ごとに単体や化合物の性質を広く学ぶ。 3 生体を構成する有機化合物にはどのようなものがあるか、また組成や構造がその性質とどのように関連しているかを理解する。 4 合成高分子化合物について、その組成や構造と性質の関連性を理解し、化学的な理解を深める。</p> <p>自選 化学基礎 文理系・文系 1 単位 『化学基礎』に対応し、副教材などを活用した問題演習を行う。</p> </div> <div style="width: 24%;"> <p>地学 理系・文理系 必選 6 単位 (1) 地球の形状や内部構造 (2) 地球の活動と歴史 (3) 地球の大気と海洋 (4) 宇宙の構造</p> <p>自選 地学基礎 文理系・文系 1 単位 5年次の学習で不十分なところを補充するとともに、各単元の重要事項を整理し、文系センター試験をターゲットとした問題演習を行う。</p> </div> </div>	

※ 6年生の自由選択科目は受講希望者数によって変更があり得ます。

教科名 理科
 科目名 物理
 対象 2学年全員

I 学習到達目標

- 1 目的意識を持って実験・観察などを行い、探求心を高め、自然を主体的に学習する態度を育てる。
- 2 実験・観察を通して探究活動を行い、科学的に自然を調べる方法を身に付け、問題解決能力を育てる。
- 3 自然の事物・現象にみられる原理・法則を理解し、分析的、総合的に考察する能力を養い、科学的な自然観を育てる。
- 4 科学や自然と人間とのかかわりの視点に立ち、自然を総合的にみる見方や、科学的なものの見方を育てる。

II 授業の進め方（授業形態等）

- 1 一斉授業 2 実験・観察 3 議論

III 教科書・補助教材

教科書 「新しい科学3」東京書籍
 補助教材 「最新 理科便覧 東京都版」浜島書店、「系統的に学ぶ 中学 物理」文理、「中学の物理」教育開発出版

IV 学習計画

学	月	学 習 内 容		授業時数	備考		
		考 査	「教科書」の学習内容			副教材・その他の学習内容	
一 学 期	4	1 学期 中 間 考 査	電気の世界	授業プリント、実験レポート 問題集、系統的、理科便覧「静電気と電流」の学習内容に対応した部分	9～10	1 0	
	5		1 章 静電気と電流 1 静電気と放電 2 電流の正体 3 放射線の性質と利用				
	6		2 章 電流の性質 1 電気の利用 2 回路に流れる電流 3 回路に加わる電圧 4 電圧と電流と抵抗 5 電気エネルギー				
二 学 期	7	1 学期 期 末 考 査	3 章 電流と磁界 1 電流がつくる磁界 2 モーターのしくみ 3 発電機のしくみ 4 直流と交流	授業プリント、実験レポート 問題集、系統的、理科便覧「電流と磁界」の学習内容に対応した部分	14～16	1 6	
	9		1 0				2 学期 中 間 考 査
三 学 期	1 0	2 学期 期 末 考 査	1 章 物体の運動 1 物体の運動の記録 2 物体の運動の速さの変化 3 だんだん速くなる運動 4 だんだんおそくなる運動	授業プリント、実験レポート 問題集、系統的、理科便覧「物体の運動」の学習内容に対応した部分	14～16	1 6	
	1 1		3 学期 学 年 末 考 査				2 章 力のはたらき方 1 力のつりあい 2 力の合成と分解 3 慣性の法則 4 作用反作用の法則
	1 2						3 章 エネルギーと仕事 1 さまざまなエネルギー 2 力学的エネルギー 3 仕事と力学的エネルギー 4 仕事の原理と仕事率 5 エネルギーの変換と保存
	1						6～7
	2	5～7					
3							
					7 0		
評 価	学期毎の評価、学年末の評定については、以下の資料を用いて、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点から総合的に評価を行う。 ①定期考査（各学期、年間5回）、 ②提出物（宿題・ノート、実験・観察プリント） ③学習の様子（授業参加態度、提出物状況、関心・意欲等）						

教科名 理科
 科目名 地学
 対象 2学年全員

I 学習到達目標

- 1 中高一貫校の特性を生かし、中学校理科地学と高等学校地学の重複している部分を精選することによって、科目に関する高度な知識を、講義、演習、観察を通して習得させる。
- 2 身の回りにおける地学について調べる活動を行うことで、地学に進んでかかわる意欲的な態度を育てる。

II 授業の進め方（授業形態等）

- 1 年間総授業時数70時間（理科140時間中）。
- 2 クラス全体への一斉授業を基本としつつ、理科室において観察や実習を行う。

III 教科書・補助教材

教科書 「新しい科学3」東京書籍
 補助教材 「最新 理科便覧 東京都版」浜島書店、「中学の地学」教育開発出版、「系統的に学ぶ 中学 地学」文理

IV 学習計画

学 期	月	学 習 内 容		授業時数	備 考		
		考 査	「教科書」の学習内容			副教材・その他の学習内容	
一 学 期	4	1 学期 中 間 考 査	導入「地球の大気と天気の変化」 ・雲を中心にして、水の相変化について説明 第1章 気象の観測 第1節 気象の観測	初回到授業の進め方を説明 授業プリント、実験レポート 問題集、理科便覧、系統的「気象の観測」「気圧」の学習内容に対応した部分 ・校内の気象観測	9～11	10	
	5		第2節 大気圧と圧力 第3節 気圧と風				
	6		第4節 水蒸気の変化と湿度 ・飽和水蒸気量、湿度				
	7	1 学期 期 末 考 査	第2章 雲のでき方と前線 第1節 雲のでき方 第2節 気団と前線	授業プリント、実験レポート 問題集、理科便覧、系統的「湿度」、 「前線」の学習内容に対応した部分 ・飽和水蒸気量と湿度測定実験 ・前線のモデル実験	3～4	16	
	5		12～13				
	夏休み 宿 題		太陽の1日の動きの記録				
二 学 期	9	2 学期 中 間 考 査	第3章 大気の動きと日本の天気 第1節 大気の動きと天気の変化 第2節 日本の天気と季節風 第3節 日本の天気の特徴 第4節 天気の変化の予測 第5節 気象現象がもたらすめぐみと災害	授業プリント、実験レポート 問題集、理科便覧、系統的「日本の天気」の学習内容に対応した部分 ・フェーン現象 ・天気の予測 ・天気図作図体験	13～15	14	
	10		2 学期 期 末 考 査	導入「地球の外の天体」 第1章 地球の運動と天体の動き 第1節 太陽の1日の動き 第2節 地球の自転と方位、時刻 第3節 星の1日の動き 第4節 天体の1年の動き 第5節 地軸の傾きと季節の変化	授業プリント、実験レポート 問題集、理科便覧、系統的「日周運動」「年周運動」「地軸の傾きと季節の変化」の学習内容に対応した部分 ・シミュレーションソフトMitaka ・個別用小型透明半球の使用 ・地軸の傾きと季節のモデル実験 ・太陽系のプレゼン		12～13
	11			第3章 宇宙の広がり 第1節 太陽系の天体			
三 学 期	1	3 学期 学 年 末 考 査	第2章 月と金星の見え方 第1節 月の満ち欠け ・満ち欠けと月の公転 第2節 日食と月食 第3節 金星の見え方 ・金星が満ち欠けして見えるのはなぜか調べる。	授業プリント、実験レポート 問題集、理科便覧、系統的「日周運動」「年周運動」「地軸の傾きと季節の変化」の学習内容に対応した部分 ・月の観察 ・月、金星の満ち欠けのモデル観察	6～7	14	
	2		6～7				
	3						
					70		
評 価	学期毎の評価、学年末の評定については、以下の資料を用いて、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点から総合的に評価を行う。 ①定期考査（各学期、年間5回）、 ②提出物（宿題・ノート、実験・観察プリント） ③学習の様子（授業参加態度、提出物状況、関心・意欲等）						

音楽科

I 音楽科の学習目標

- (1) 中学段階では、音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質能力を高める。
- (2) 高校段階では、音楽の諸活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と深く関わる資質能力を高める。
- (3) 6年間を通して、音楽に対する感性を豊かにするとともに、芸術の諸能力を伸ばし、豊かな情操を養う。

II 音楽科の6年間の科目構成と学習内容

		「科目」と学習内容	発展的な内容、特色ある活動、関連する行事等
中学段階	1年	A表現 (1) 歌唱：斉唱、混声三部合唱 (2) 器楽・創作： アルトリコーダー・三味線 B鑑賞 (1) 芸術歌曲 (2) 管弦楽曲	合唱コンクールクラス曲の練習および発表 三味線実技の練習および発表
	2年	A表現 (1) 歌唱：独唱、混声三部合唱 (2) 器楽・創作：アルトリコーダー・三味線 B鑑賞 (1) 管弦楽曲 (2) オペラ、日本の伝統芸能	合唱コンクールクラス曲の練習および発表 三味線実技の練習および発表
	3年	A表現 (1) 歌唱：独唱、混声三部合唱、混声四部合唱 (2) 器楽：三味線 B鑑賞 (1) 管弦楽曲 (2) 日本の伝統芸能	合唱コンクールクラス曲の練習および発表 三味線実技の練習および発表 芸術鑑賞教室
高校段階	4年	音楽Ⅰ（必修選択） 歌唱 独唱・混声四部合唱・アカペラ 器楽 三味線実技、鍵盤楽器 鑑賞、創作、理論	芸術鑑賞教室 合唱コンクールクラス曲の練習および発表 混声四部合唱曲の練習および発表
	5年		合唱コンクールクラス曲の練習および発表
	6年	音楽Ⅰ・Ⅱ（自由選択／2単位） (1) 実技演習 (2) 鑑賞 (3) 楽典	入試過去問題演習 個人レッスン

* 6年生の自由選択科目は受講希望者数によって変更があり得ます。

教科名 音楽科
 科目名 音楽
 対象 2学年全員

I 学習到達目標

(1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付ける。(2) 曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができる。(3) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しむ。

II 授業の進め方（授業形態等）

歌唱 独唱・混声三部合唱
 器楽 三味線実技・アルトリコーダー
 鑑賞、創作、理論 講義形式またはグループワーク

III 教科書・補助教材

教科書 「中学生の音楽2・3上」「中学生の器楽」教育芸術社
 補助教材 「やさしく学べる三味線入門」全音楽譜出版社「コーラスフェスティバル」正進社「ミュージックノート」教育出版
 三味線道具、アルトリコーダー

IV 学習計画

学 期	月	学 習 内 容		授業時数	備考
		考 査	「教科書」の学習内容 副教材・その他の学習内容		
一 学 期	4		読譜、呼吸法、発声法 歌唱「夏の思い出」他P12～19 アルトリコーダー 器楽P4～19	3	
	5			3	
	6	1学期 期 末 考 査	鑑賞「交響曲第5番 ハ短調」P44～51 アルトリコーダー 中学器楽P16～31 歌唱実技試験	2 2 1	
	7		楽典 アルトリコーダー実技試験	1 1	
	夏休み 宿 題		課題		
二 学 期	9		器楽 三味線の扱い方・基本的奏法など 三味線実技「春の小川」他 鑑賞「フーガ ト短調」P40～43 楽典	2 3 2 1	
	10	2学期 期 末 考 査	器楽 三味線実技練習 三味線実技試験	5 2	
	11				
	12				
	冬休み 宿 題				
三 学 期	1	3学期 学 年 末 考 査	合唱コンクール クラス曲練習 鑑賞「文楽 新版歌祭文」P64～67 歌唱実技試験	4 2 1	
	2				
	3				
				35	
評 価	各学期実技テストや定期考査等のテストに平常点（宿題やワークシートの提出・授業中の取り組み）を加味したものを評価の対象とし、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の観点別で評価する。各学期5段階評価。				

美術科

I 美術科の学習目標

- (1) 中学段階においては、美術を愛好する心情を育てるとともに、美術の基礎的な能力を伸ばす。
- (2) 高校段階においては、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに、個性豊かな表現の能力を伸ばす。
- (3) 6年間を通して、美術に対する感性を豊かにするとともに、芸術の諸能力を伸ばし、豊かな情操を養う。

II 美術科の6年間の科目構成と学習内容

		「科目」と学習内容	発展的な内容、特色ある活動、関連する行事等
中学段階	1年	A表現 (1) 絵と彫刻など ・自画像 ・模写 (2) デザインと工芸など ・レタリング ・一版多色刷り B鑑賞	体験活動 ・東京国立博物館、東京都美術館 見学 芸術鑑賞教室
	2年	A表現 (1) 絵と彫刻など ・他画像 ・透視図法による絵画 (2) デザインと工芸など ・ハイコントラスト ・石彫（篆刻） B鑑賞	体験活動 ・諸美術館、ギャラリー等の見学
	3年	A表現 (1) 絵と彫刻など ・自画像 ・静物画 (2) デザインと工芸など ・ポスターデザイン ・フォトリアリズム B鑑賞	日本の伝統文化 ・日本の文化遺産、美術作品模写 ・日本の文化遺産、芸術調べ学習 ・鑑賞（校外学習）
高校段階	4年	《美術I》【必修選択】 (1) 絵画・「水彩画」ひとつの色にとられることのないように彩色をする。モチーフの持つイメージをとらえ、画面に表現をする。 (2) デザイン・「タイポグラフィ」デザインにより伝えることのできる可能性について学習する。 ・「パッケージデザイン」普段目にする製品のデザインに着目し、そのすべてに意味があることに気づく。 (3) 立体造形・「金工」材料の特性を理解し、制作活動を行う。	
	5年		
	6年	《美術I・II》【自由選択】 ○自由制作 ・1年間を通した制作スケジュールを各自で計画する。 ・文化祭に1作品、卒業までに1作品を完成させ、それぞれ発表、展示する。 * 6年生の自由選択科目は受講希望者数によって変更があり得ます。	

* 6年生の自由選択科目は受講希望者数によって変更があり得ます。

教科名 美術科
 科目名 美術
 対象 2 学年全員

I 学習到達目標

- 1 主体的に美術活動に取り組み、美術を愛好する心情を深める。
- 2 発想豊かに制作し、創造的に表現する能力を伸ばす。

II 授業の進め方（授業形態等）

- 1 年間総授業時数 35 時間
- 2 美術室における制作活動
- 3 鑑賞（美術館等）

III 教科書・補助教材

教科書 光村図書「美術 2・3 上下」
 補助教材 秀学社「レタリング辞典」

IV 学習計画

学 期	月	学 習 内 容		授業時数	備考
		考 査	「教科書」の学習内容		
一 学 期	4		・オリエンテーション ・透視図法による絵画	9	
	5				
	6		・美術史	2	
	7	1 学期 期 末 考 査	・ 1 学期期末テスト ・ テスト解説	1 1	
	夏休み 宿 題		・美術館鑑賞レポート		
二 学 期	9		・石彫(篆刻)	10	
	10	2 学期 中 間 考 査			
	10		・美術史 ・浮世絵 ・ 2 学期期末テスト ・ テスト解説	1 1 1 1	
	11	2 学期 期 末 考 査			
12					
三 学 期	1		・ハイコントラスト	6	
	2	3 学期 学 年 末	・ 学年末テスト ・ テスト解説、まとめ	1	
	3	考 査		1	
				35	
評 価	以下の点を中心に、定期考査・実技・提出物・授業態度等をもとにして評価する。				
	<ol style="list-style-type: none"> 1 授業に取り組む姿勢・態度 2 美術史、色彩論等の基本理解 3 表現を楽しんだり、工夫したりすることができたか 4 美術作品を鑑賞することができたか 				

保健体育科

I 保健体育科の学習目標

- (1) 各種の運動における合理的な実践を通して体力を養い、心身の調和的発達を図る。
- (2) 公正、協力、責任などの態度を培い、生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育てる。
- (3) 運動や健康について自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに他者に伝える力を養う
- (4) 個人及び集団生活における健康・安全について理解を深める。
- (5) 個人及び集団生活における心身の健康を保持増進する資質や能力を育てる。

II 保健体育科の6年の科目構成と学習内容

		「科目」と学習内容	発展的な内容、特色ある活動、関連する行事等
中学段階	1年	体育分野 ・体づくり運動（白鷗体操） ・陸上競技、器械運動、水泳、球技、武道、ダンス ・体育理論 保健分野 ・心身の発達と心の健康	特色ある活動 ・体育祭 ・スポーツ大会
	2年	体育分野 ・体づくり運動（白鷗体操） ・陸上競技、器械運動、水泳、球技、武道、ダンス ・体育理論 保健分野 ・健康と環境、傷害の防止	特色ある活動 ・体育祭 ・スポーツ大会
	3年	体育分野 ・体づくり運動（白鷗体操） ・陸上競技、器械運動、水泳、球技、武道、ダンス ・体育理論 保健分野 ・健康な生活と病気の予防	特色ある活動 ・体育祭 ・スポーツ大会
高校段階	4年	体育 ・体づくり運動（白鷗体操） ・球技（種目選択を含む） ・水泳 ・選択種目（球技、武道、ダンス） ・陸上競技 保健 ・現代社会と健康 ・生涯を通じる健康	特色ある活動 ・体育祭 ・スポーツ大会 ・部活動合宿
	5年	体育 ・体づくり運動（白鷗体操） ・球技（種目選択を含む） ・水泳 ・陸上競技 ・体育理論 保健 ・社会生活と健康	特色ある活動 ・体育祭 ・スポーツ大会 ・部活動合宿
	6年	体育 ・体づくり運動（白鷗体操） ・球技（種目選択を含む） ・水泳 ・カドリール	特色ある活動 ・体育祭 ・スポーツ大会

* 6年生の自由選択科目は受講希望者数によって変更があり得ます。

教科名 保健体育科
 科目名 保健体育
 対象 2学年全員

I 学習到達目標

生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成する。
 1 各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。
 2 運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
 3 生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

II 授業の進め方（授業形態等）

1 年間授業時数 105 時間

III 教科書・補助教材

教科書 大日本図書「中学校 保健体育」
 副教材 大修館書店「ステップアップ中学体育」

IV 学習計画

学期	月	学習内容				授業時数		備考		
		考査	A	B						
一学期	4		体づくり運動 集団行動 (白鷗体操、新体力テスト)	体育理論 1. 運動やスポーツが心身や社会性に及ぼす効果 P56-57	体づくり運動 集団行動 (白鷗体操、新体力テスト)	体育理論 1. 運動やスポーツが心身や社会性に及ぼす効果 P56-57	8	体育理論 1		
	5		陸上競技 (短距離・リレー)	保健 1. 生活習慣病の予防 P72-73 2. がんの予防 P74-75 3. 喫煙と健康 P76-77 4. 飲酒と健康 P78-79	陸上競技 (短距離・リレー)	保健 1. 生活習慣病の予防 P72-73 2. がんの予防 P74-75 3. 喫煙と健康 P76-77 4. 飲酒と健康 P78-79	6	保健 3	体育祭	
	6		球技 (ハンドボール)	5. 薬物乱用と健康 P80-81 6. 喫煙、飲酒、薬物乱用のきっかけ P82-83	球技 (バレーボール)	5. 薬物乱用と健康 P80-81 6. 喫煙、飲酒、薬物乱用のきっかけ P82-83	8	保健 4		
	7	期末考査	陸上競技 (走り高跳び)		器械運動 (跳び箱)		6			
		夏休み宿題	水泳		水泳					
二学期	9		水泳	体育理論 2. 運動やスポーツの学び方 P58-59	水泳	体育理論 2. 運動やスポーツの学び方 P58-59	8	体育理論 1		
	10		球技 (バレーボール)	保健 1. 傷害の発生要因と防止 P90-91 2. 交通事故の要因と傷害の防止 P92-93	球技 (ハンドボール)	保健 1. 傷害の発生要因と防止 P90-91 2. 交通事故の要因と傷害の防止 P92-93	9	保健 4		
	11		器械運動 (跳び箱)	3. 犯罪被害の防止 P96-97 4. 自然災害による傷害の防止 P98-99	陸上競技 (走り高跳び)	3. 犯罪被害の防止 P96-97 4. 自然災害による傷害の防止 P98-99	8	保健 4		
	12	期末考査	武道 (柔道)	5. 応急手当の基本 P104-105 6. 心肺蘇生法 P106-107 7. 出血があるときの応急手当 P110-111 8. 外傷の応急手当 P112-113	ダンス 武道 (柔道)	5. 応急手当の基本 P104-105 6. 心肺蘇生法 P106-107 7. 出血があるときの応急手当 P110-111 8. 外傷の応急手当 P112-113	6			
	冬休み宿題	球技 (卓球)		球技 (バドミントン)						
三学期	1		陸上競技 (長距離走)	3. 安全な運動やスポーツの行い方 P60-61	球技 (バスケットボール)	3. 安全な運動やスポーツの行い方 P60-61	6	体育理論 1		
	2		球技 (バスケットボール)		陸上競技 (長距離走)		10			
	3	期末考査	球技 (バドミントン)		球技 (卓球)		9		スポーツ大会	
						86	19	105		
評 価	<p>評価・評定については以下の3観点をもとに総合的に評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知識・技能 ・思考・判断・表現 ・主体的に学習に取り組む態度 <p>①定期考査 ②学習カード、ワークシート ③技能テスト、記録 ④観察（授業参加態度、提出物状況、関心・意欲 課題解決能力、判断能力等）</p>									

技術・家庭科

I 技術・家庭科の学習目標

- (1) 日常の家庭生活に関心を持ち、生活を見直す姿勢を養う。
- (2) 生活課題を解決するために実際の生活の場で実践できる基礎的な知識と技術を身に付けさせる。
- (3) どうすればよいのか判断して意思決定し、よりよい生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。
- (4) 社会の変化に主体的に対応できる人間育成を目指して、生活の自立と生きる力を育む。

II 技術・家庭科の6年間の科目構成と学習内容

		「科目」と学習内容		発展的な内容、特色ある活動、関連する行事等
中学段階	1年	家庭分野【全員必修】 家庭分野ガイダンス A 家族・家庭生活 1 自分の成長と家族・家庭生活 B 衣食住の生活(衣) 1 目的に応じた衣服の選択 2 日常着の手入れと保管 3 生活を豊かにするための製作 4 持続可能な衣生活(住) 1 住まいのはたらきとこちよさ 2 安全な住まいで安心な暮らし 3 持続可能な衣生活	技術分野【全員必修】 1編 材料と加工の技術 1章 材料と加工の技術の原理・法則と仕組み 2章 材料と加工の技術による問題解決 3章 社会の発展と材料と加工の技術 2編 生物育成の技術 1章 生物育成の技術の原理・法則と仕組み 4編 情報の技術 1章 情報の技術の原理・法則と仕組み	テーマ学習 ・家庭内での自分の役割 ・日本と世界の伝統的衣服 ・日本の住居、世界の住居 日本伝統文化 ・地域伝統工芸訪問、講話（江戸指物等） ＊総合学習と内容が重なる場合有り プレゼンテーション能力 ・コンピュータリテラシーと情報モラル ・プレゼンテーションソフトの活用 資格試験 ・P検5級の受験
	2年	家庭分野【全員必修】 B 衣食住の生活(食) 1 食事の役割と食習慣 2 中学生に必要な栄養を満たす食事 3 日常食の調理 4 献立づくり 5 持続可能な食生活	技術分野【全員必修】 3編 エネルギー変換の技術 1章 エネルギー変換の技術の原理・法則と仕組み 2章 エネルギー変換の技術による問題解決 3章 社会の発展とエネルギー変換の技術 2編 生物育成の技術 2章 生物育成の技術による問題解決 3章 社会の発展と生物育成の技術 4編 情報の技術 2章 双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題解決 3章 計測・制御のプログラミングによる問題解決	テーマ学習 ・自身の食事摂取基準（1日当り）と理想の比較検証 ・郷土料理（我が家の味、世界の味）と行事食
	3年	家庭分野【全員必修】 A 家族・家庭生活 1 幼児の生活と家族 2 幼児とのかかわり 3 家庭生活と地域のかかわり C 消費生活・環境 1 家庭生活と消費 2 購入・支払いと生活情報 3 消費者被害と消費者の自立 4 持続可能な社会	技術分野【全員必修】 4編 情報の技術 2章 双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題解決 3章 計測・制御のプログラミングによる問題解決 4章 社会の発展と情報の技術	テーマ学習 ・ゴミの減量化 ・省エネルギー 体験的学習 ・消費者教育講座
高校段階	4年	《家庭基礎》【全員必修】 1 人の一生と家族・家庭及び福祉 ア 青少年の自立と家族・家庭 イ 子どもの発達と保育 ウ 高齢期の生活 エ 共生社会と福祉 2 生活の自立及び消費と環境 ア 食事と健康 イ 被服管理と着装 ウ 住居と住環境 エ 消費生活と生涯を見通した経済の計画 オ ライフスタイルと環境 カ 生涯の生活設計 3 ホームプロジェクトと学校家庭クラブ3 ホームプロジェクトと学校家庭クラブ		学校家庭クラブ活動 ・デイケアセンターとの交流 ・福祉作業所との交流 ・こども園との交流 体験学習 ・車椅子体験 ・シニア疑似体験 ・保育園実習

* 5年・6年は家庭科の設定科目なし

教科名 技術・家庭科
 科目名 技術・家庭
 対象 2学年全員

I 学習到達目標

- 1 実践的・体験的な学習を通して、生活の自立に必要な食生活、ものづくりに関する知識と技術を習得する。
- 2 コンピュータに興味・関心をもち、基本操作がわかる。
- 3 課題を持って生活をよりよくしようとする能力と態度が育つ。

II 授業の進め方（授業形態等）

- 1 年間授業時数70時間
- 2 1クラス2展開 20人授業
 技術を学ぶ生徒と家庭科を学ぶ生徒を、1学期と2学期で入れ替える。3学期は1時間ずつ技術と家庭科を学習する。

III 教科書・補助教材

教科書 「新しい技術・家庭（技術分野）」東京書籍 「技術・家庭（家庭分野）」開隆堂
 補助教材「技術・家庭ノート（家庭分野）」正進社
 ラジオキット・情報テキスト（学習ノート）・栽培キット（技術分野）・ウッドホビーキット

IV 学習計画

学 期	月	学 習 内 容				授業時数	備考
		考 査	「教科書」の学習内容	副教材・その他の学習内容			
一 学 期	春休み 宿題	宿題 テスト					
	4		<技術分野>：α班 ・木工作品の設計・製作 3編 エネルギー変換の技術 1章 エネルギー変換の技術の原理・法則と仕組みP.140-169 2章 エネルギー変換の技術による問題解決P.170-189 ※ラジオ製作	<家庭分野>：β班 B食生活と自立 1 健康と食生活P.60～81 2 食品の選択と保存P.82～93	<技術分野> ウッドホビーキット ラジオキット製作 (実験・実習) 課題プリント	<家庭分野> ノートP.30～39 ノートP.40～46 調理実習 調べ学習	6～8 6～8
	5						
	6 7	1学期 期末 考査	2編 生物育成の技術 1章 生物育成の技術の原理・法則と仕組みP.88～101 2章 生物育成の技術による問題解決P.102-129 ※栽培キットによる栽培実習 4編 情報の技術	3 調理をしようP.94～129	栽培キット(実験・実習) 課題プリント	ノートP.47～55,61 調理実習	8 4
	夏休み 宿題		ベビーリーフの栽培記録 (課題と実践)	食生活の課題を見つけよう (課題と実践)			
二 学 期	9		<家庭分野>：α班 B食生活と自立 1 健康と食生活P.60～81 2 食品の選択と保存P.82～93	<技術分野>：β班 ・木工作品の設計・製作 3編 エネルギー変換の技術 1章 エネルギー変換の技術の原理・法則と仕組みP.140-169 2章 エネルギー変換の技術による問題解決P.170-189	<家庭分野> ノートP.30～39 ノートP.40～46 調理実習 調べ学習	<技術分野> ウッドホビーキット ラジオキット製作 (実験・実習) 課題プリント	6～8 6～8
	10						
	11 12	2学期 期末 考査	3 調理をしようP.94～129	2編 生物育成の技術 1章 生物育成の技術の原理・法則と仕組みP.88～101 2章 生物育成の技術による問題解決P.102-129	ノートP.47～55,61 調理実習	栽培キット(実験・実習) 課題プリント	8 4
	冬休み宿題						
三 学 期	1		<技術分野> 4編 情報の技術 3章 双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題解決P.220-235 3章 計測・制御のプログラミングによる問題解決P.236～250	<家庭分野> B食生活と自立 4 地域の食材と食文化 P.130～141	<技術分野> コンピュータ実習 学習ノートP.14,15	<家庭分野> ノートP.62～65 調査 調べ学習	6 8 4
	2						
	3	3学期 学年末 考査	2編 生物育成の技術 3章 社会の発展と生物育成の技術P.130-137 3編 エネルギー変換の技術 3章 社会の発展とエネルギー変換の技術P.190-197				
						70 (2単位)	
評 価	学期毎の評価、学年末の評定については、以下の資料を用いて、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点から総合的に評価を行う。 ①定期考査（各学期1回、年間3回）、②提出物（宿題ノート、課題プリント）、③学習の様子（授業参加態度、提出物状況、関心・意欲等）						

英語科

I 英語科の学習目標

- (1) 外国語の学習を通じて、外国語とその外国語が使われている文化背景について学ぶ。
- (2) 外国語の学習を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする姿勢を育てる。
- (3) 外国語の学習を通じて、情報や意向を理解し、自己表現する実践的なコミュニケーション能力を身につける。

II 英語科の6年間の科目構成と学習内容

		「科目」と学習内容	発展的な内容、特色ある活動、関連する行事等
中学段階	1年	小学校の学習内容を体系的な知識・技能に移行する。 【言語運用スキル】アルファベットの書き方、辞書の使い方、音声と文字のつながり、日常的なあいさつ、シンプルな会話・スピーチの聞き取り、簡単な自己表現、簡単な道案内 【言語材料】be動詞・一般動詞の肯定文/否定文/疑問文、疑問詞を用いた疑問文、命令文、場所を表す前置詞、基本的な動名詞・過去時制(be動詞/一般動詞)、代名詞、三人称単数現在の表現・助動詞(can/need to)、現在進行形、感嘆文、不定詞(want to)、SVC(look)	<ul style="list-style-type: none"> ・CD教材などで聞き取り練習 ・スキットの作成、発表 ・文法・語法の演習および先行的学習 ・日記文やエッセイ文の基本練習 ・Show & Tellなどによる口頭発表活動 ・英検全員受検【4級の取得を目指す】 ・GTEC受験
	2年	基本的な英語運用能力を伸ばす 【言語運用スキル】学習を深める辞書の使い方、英語の文構造、品詞、即興の会話の継続、聞き手を意識したスピーチ・会話、道案内、場面に応じた依頼、電話でのやり取り、手紙の書き方 【言語材料】未来の表現、五文型、接続詞(because/if/when/that)、助動詞(may/will/must/shall/have to/過去)、不定詞、動名詞、疑問詞+to、比較表現、受け身	<ul style="list-style-type: none"> ・CD教材などで聞き取り練習 ・文法・語法の演習および先行的学習 ・日記文やエッセイ文の基本練習 ・副読本を読む ・英文の暗唱などの口頭発表活動 ・英検全員受検【準2級以上の取得を目指す】 ・GTEC受験
	3年	基本的な英語運用能力を完成し、高校への準備に入る 【言語運用スキル】聞き手を意識した社会的な話題への論理的な意見構築、相手の意見を受けての自己主張、シンプルなディベート、シンプルな要約 【言語材料】現在完了/完了進行形、SVOC、It for to、原形不定詞、間接疑問文、後置修飾、現在/過去分詞、接触節、関係代名詞、仮定法	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションを中心とした発展的活動 ・副読本を読む ・文法・語彙（ごい）・表現力強化、聞き取り練習 ・高校英語への準備 ・英検受検【2級以上の取得を目指す】 ・GTEC受験 ・英文エッセイを完成
高校段階	4年	《コミュニケーション英語Ⅰ》《英語表現Ⅰ》 中学時代に学習した英語能力をさらに高める 【英語で聞いたことを素早く処理する】 【様々なジャンルの英語を正確に読みとる】 【言いたいことが言えるようにする】 【自分の意見を持って書く表現力をつける】	<ul style="list-style-type: none"> ・副読本を読む ・文法の演習・まとめ ・スピーチ・ダイアログを行う ・語彙（ごい）・表現力強化 ・やさしいニュースを聞く ・GTEC受験
	5年	《コミュニケーション英語Ⅱ》《英語表現Ⅱ》 《白鷗プレゼンテーション・イン・イングリッシュ》 5年終了時まで共通テストで7割の得点が取れるようにする 【英語コミュニケーション能力をさらに伸ばす】 【論理展開などに注意して文章を理解する】 【習った語法を使い、言いたいことが書ける】 【テーマを決め論理的な説得力のある文を書く】 【発表の仕方を学び、自分の意見を発表する】	<ul style="list-style-type: none"> ・副読本を読む ・文法・語法の演習 ・構文の定着 語彙（ごい）増強 ・速読できる力をつける ・いろいろな英語を聞く ・プレゼンテーションを行う ・GTEC受験
	6年	《コミュニケーション英語Ⅲ》《英語表現Ⅱ》 《白鷗プレゼンテーション・イン・イングリッシュ》 大学入試問題（国公立2次・私大）の演習を行う 【長文理解に加えて、背景を学ぶ】 【いろいろなテーマについて内容豊かに書く】 【かなりの分量を速く読む技術を習得する】 【話し合ったり、討論したりする】	<ul style="list-style-type: none"> ・文法・語法・構文の演習 ・語彙増強 ・読解力の向上 ・リスニングテストで聞き取り練習 ・各自の必要に応じた力の伸長 ・プレゼンテーションを行う ・英語論文の完成

* 6年生の自由選択科目は受講希望者数によって変更があり得ます。

教科名 英語科
 科目名 英語
 対象 2学年全員

I 学習到達目標

- 1 基本的な表現・文法事項を学習し、自分の意見や考えを英語で伝える力、相手の意見や考えを英語で聞き取り理解する力を付ける。
- 2 英語の様々な読み物から新しい知識や情報を読み取る力を付ける。
- 3 自己紹介や日本文化の紹介だけでなく、世界の国々の文化や人々の生活について学び、考える力を付ける。

II 授業の進め方（授業形態等）

- 1 年間授業時数140時間
- 2 2クラスを4展開して習熟度クラス編成による授業を行う。
- 3 副教材を活用し、基礎を固めると共に、発展的な学習を行う。
- 3 定期的に単語テストや小テスト（Dictation Test、単元テストなど）を行い、基礎文法事項の定着を図る。

III 教科書・補助教材

教科書 「NEW HORIZON English Course 2」東京書籍
 補助教材 「5 stage 英文法完成 book 2」数研出版 「EIGO NO PARTNER 2」正進社 「Listening Laboratory Basic α」数研出版
 「新 ユメタン①・②」アルク 「マーフィーのケンブリッジ英文法」ケンブリッジ大学出版

IV 学習計画

学 期	月	学 習 内 容		授業時数	備考
		考 査	「教科書」の学習内容		
一 学 期	春休み	宿 題 テ ス ト	1年生の総復習＋長文読解などの応用問題	1	
	4	1 学期 中 間 考 査	『Unit0・Unit1』 ・過去形や過去進行形を用いた文、There is [are] を使用して発表し、感想を述べる。 ・be going to や助動詞 will を用いた文、SVOO, SVOC を使用して「質問する、申し出る、説明する、描写する、報告する」などの表現を身につける。	『ユメタン』 ・毎週100個ずつ進めていく。	15
	5			『Dictationテスト』 ・教科書の本文が終わった次の授業に、 Dictationテストを行う。 『単元テスト』 ・教科書単元終了後の確認テスト	10
	6	1 学期 期 末 考 査	『Unit2・Unit3』 ・接続詞 when, if, that, because の働きを理解し、「発表する、仮定する、招待する、質問する、説明する」などの表現を身につける。 ・不定詞を理解し、「説明する、報告する、質問する、発表する」などの表現を身につける。	『ユメタン』 『Dictationテスト』 『単元テスト』	10
7	『ユメタン』 『Dictationテスト』 『単元テスト』			10	
	夏休み	宿 題 テ ス ト	1学期の復習、長文読解問題、英単語	1	
二 学 期	9	2 学期 中 間 考 査	『Unit4』 ・ have to, 助動詞 must, 動名詞を理解し、「質問する、繰り返す、約束する、質問する、報告する、苦情を言う」などの表現を身につける。	『ユメタン』 『Dictationテスト』 『単元テスト』	13
	10			『ユメタン』 『Dictationテスト』 『単元テスト』	7
	11	2 学期 期 末 考 査	『Unit5・Unit6』 ・〈疑問詞＋to〉を用いた文や〈主語＋be動詞＋形容詞＋that〉を理解し、「質問する、説明する、発表する、意見を言う」などの表現を見につける。 ・比較表現を理解し、「質問する、意見を言う、礼を言う、発表する、報告する、褒める」などの表現を身につける。	『ユメタン』 『Dictationテスト』 『単元テスト』	7
12	『ユメタン』 『Dictationテスト』 『単元テスト』			14	
	冬休み	宿 題 テ ス ト	1~2学期の総復習 【助動詞・動名詞・不定詞・比較表現】	1	
三 学 期	1	3 学期 学 年 末 考 査	『Unit7』 ・受け身を理解し、「説明する、質問する、繰り返す、発表する」などの表現を身につける。	『ユメタン』 『Dictationテスト』 『単元テスト』	14
	2			『ユメタン』 『Dictationテスト』 『単元テスト』	8
	3			『ユメタン』 『Dictationテスト』 『単元テスト』	16
				140	
評 価	学期毎の評価、学年末の評定については、以下の資料を用いて、「知識・技能」「思考・判断・表現」 「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点から総合的に評価を行う。 ①定期考査（各学期、年間5回） ②宿題テスト（春休み、夏休み、冬休み、年間3回） ③Dictationテスト ④小テスト（単語・単元） ⑤提出物（宿題ノート、課題プリント） ⑥学習の様子（授業参加態度、提出物状況）				

第2外国語科

I フランス語の学習目標

- (1) 外国語の学習を通じて、外国語とその外国語が使われている文化背景について学ぶ。
- (2) 外国語の学習を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする姿勢を育てる。
- (3) 外国語の学習を通じて、情報や意向を理解し、自己表現する実践的なコミュニケーション能力を身につける。

II フランス語の6年間の科目構成と学習内容

		「科目」と学習内容	発展的な内容、特色ある活動、関連する行事等
中学段階	1年	開講せず	開講せず
	2年	<ul style="list-style-type: none"> ・初歩的な会話をできるようにする ・フランス語のしくみを理解する ・フランス文化について学習し、他との共通点や違いを理解する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ALTとの学習 ・聞き取り練習 ・寸劇の作成と発表 ・演劇 ・文法の演習 ・フランスのゲーム、歌、アニメ
	3年	<ul style="list-style-type: none"> ・日常会話をできるようにする ・フランス語の全体像を把握する ・フランス文化について学習し、他との共通点や違いを理解して考える力をつける 	<ul style="list-style-type: none"> ・ALTとの学習 ・聞き取り練習 ・寸劇の作成と発表 ・翻訳 ・文法や仏検の演習（希望者は仏検受験） ・フランスのゲーム、歌、映画
高校段階	4年	<ul style="list-style-type: none"> ・旅行や留学で使える会話表現を増やす ・読解や仏作文に慣れる ・フランスの文化について学習し、自ら考え表現する能力と態度を身につける 	<ul style="list-style-type: none"> ・文法、語彙、聴解力、読解力を強化する活動 ・口頭発表 ・翻訳 ・仏作文 ・仏検の演習（希望者は仏検受験）
	5年	<ul style="list-style-type: none"> ・旅行や留学で使える会話表現をさらに増やす ・学習した文法事項を活用して、読解や仏作文ができる ・フランスの文化、歴史、現代事情について学習し、自ら考え表現する能力と態度を身につける 	<ul style="list-style-type: none"> ・文法、語彙、聴解力、読解力を強化する活動 ・口頭発表 ・翻訳 ・仏作文、日記、手紙、メール ・仏検の演習（希望者は仏検受験）
	6年	<ul style="list-style-type: none"> ・大学入試に対応できる能力を身につける 	<ul style="list-style-type: none"> ・大学入試問題の演習など

* 6年生の自由選択科目は受講希望者数によって変更があり得ます。

教科名 第二外国語
 科目名 フランス語
 対象 2 学年選択

I 学習到達目標

- 1 フランス語の基本的な表現を学習し、それを使って初歩的な会話をできるようにする。
- 2 フランス語の基本的な文法事項を学習し、フランス語のしくみを理解する。
- 3 フランスの基本情報、フランス語の歴史、フランス語圏に関する知識を深めるとともに、フランス文化について学習し、他との違いや共通点を理解する。

II 授業の進め方（授業形態等）

- 1 2クラス4展開で選択授業を行う
- 2 教科書や補助教材を活用し、基礎を固めると共に発展的な学習を行う。
- 3 定期的にテストや発表を行い、基礎文法事項や簡単な会話表現の定着を図る。

III 教科書・補助教材

教科書 『発見！ フランス語教室 (A la découverte)』（中井珠子他著、第三書房、2019年）
 補助教材 プリント教材など

IV 学習計画

学 期	月	学 習 内 容		授業時数	備考	
		「教科書」の学習内容	副教材・その他の学習内容			
一 学 期	春休み 宿題		なし	なし		
	4	Leçon 1: 挨拶・名前を言う (挨拶や自己紹介の表現、tu と vous) pp.6-11	・フランスの基本情報 ・フランス語の歴史	2		
	5	Leçon 2: 話せる言語・世界の言語を言う (規則動詞 parler の現在形、au / en / aux + 国名、国と言語を表す単語、0~10) pp.12-17	・フランス語圏 ・アルファベ	8		
6 7	1 学期 期 末 考 査	Leçon 3: 好き嫌いを言う (規則動詞 aimer の現在形、疑問文、否定文、冠詞、程度の表現、活動や飲食物を表す単語) pp.18-23	・学期末試験 ・フランスのアニメ ・フランス文化 (ヴァカンス)	8		
		補足: つづり字と発音の関係		2		
夏休み 宿題						
二 学 期	9	Leçon 4: 人物の特徴を言う (形容詞の性・数、être の現在形、外見や性格を表す単語、11~20) pp.24-29	・フランスのゲーム、歌	10		
	10	Leçon 5: からだの状態を言う (avoir を使う表現、avoir の現在形、à / de + 定冠詞、否定疑問文、からだの部位を表す単語、21~69) pp.30-35		10		
	10 11	2 学期 期 末 考 査	Leçon 6: 時刻・天候を言う (時刻や天気表現、faire の現在形、非人称構文、70~99) pp.36-41 補足: つづり字と発音の関係	・学期末試験 ・筆記体 ・フランス文化 (ノエル)	10 10	
冬休み 宿題						
三 学 期	1	3 学期 期 末 考 査	Leçon 7: これからすることを言う、指示・提案する (近接未来、aller / partir / sortir / dormir の現在形、命令文、曜日、日常の活動を表す単語) pp.42-47	・学期末試験 ・演劇 ・フランス文化 (イースター)	6 4	
	2	Leçon 8: 欲しいものを言う (買い物の表現、指示形容詞、直接目的語の代名詞 le / la / les、prendre / venir の現在形、身の回りの品や文房具を表す単語、100~10000) pp.48-53 補足: つづり字と発音の関係				
				計 70 (2 単位)		
評 価	以下の資料を用いて、3つの観点「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」から総合的に評価を行う。 ・学期末試験 (年に3回) ・授業への参加態度 ・発表 ・提出物 ・宿題					

外国語科

I ドイツ語の学習目標

- (1) 外国語の学習を通じて、外国語とその外国語が使われている文化背景について学ぶ。
- (2) 外国語の学習を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする姿勢を育てる。
- (3) 外国語の学習を通じて、情報や意向を理解し、自己表現する実践的なコミュニケーション能力を身につける。

II ドイツ語科の6年間の科目構成と学習内容

		「科目」と学習内容	発展的な内容、特色ある活動、関連する行事等
中学段階	1年	開講せず	開講せず
	2年	<ul style="list-style-type: none"> ・ドイツ語の初歩（アルファベット、発音等）を学習し、基本的な挨拶、自己紹介、初歩的な日常会話ができるようにする。 ・ドイツの歴史、文化、実情に触れることで、ドイツ、さらにはヨーロッパ、世界への関心を呼び起こす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ALTによる発音練習、聞き取り演習。 ・小テスト、単語ゲームなどで学習した単語の定着。 ・自己紹介原稿など、基本的な文を書けるようにする。 ・スピーチ、ドラマの台詞などを暗唱し、発表する。 ・DVDあるいは講師を招いて、ドイツ文化（音楽、食、スポーツ等）に親しむ。
	3年	<ul style="list-style-type: none"> ・中学二年生で学んだドイツ語をさらに発展させて学習し、日常会話等ができるようにする。 ・正しい発音、基本的文法事項を徹底する。 ・ドイツの過去と現代、ドイツ文化の特徴を学び、その知識を深める。 ・ドイツ、ヨーロッパ、世界への関心を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ラジオ教材の活用など聞き取り練習 ・語彙を増やす。 ・スキットの作成、発表 ・文法、語法の演習 ・日記を書き、少しまとまった文を書けるようにする。 ・暗唱など口頭発表活動 ・副読本を読む
高校段階	4年	<ul style="list-style-type: none"> ・中学で学んだドイツ語をさらに発展させて学習し、日常会話等から実際に使うことができるドイツ語ができるようにする。 ・ドイツの歴史と現代のドイツ、ドイツ文化の特徴を学び、その知識をさらに深める。さらに自ら考え表現する能力と態度を身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションを中心とした発展的活動 ・文法、語彙、表現力を強化する活動 ・副読本を読む ・聴解力強化 ・スピーチ、ダイアログを行う
	5年	<ul style="list-style-type: none"> ・中学で学んだドイツ語をさらに発展させて学習し、日常会話等から実際に使うことができるドイツ語ができるようにする。そこから自分の意見を表現できるようにする。 ・ドイツの歴史と現代のドイツ、ドイツ文化の特徴を学び、その知識をさらに深める。さらに自ら考え表現する能力と態度を身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションを行う ・やさしいニュースを聞く ・文法、語彙、表現力を強化する活動 ・副読本を読む ・聴解力強化 ・スピーチ、ダイアログを行う
	6年	<ul style="list-style-type: none"> ・大学入試(共通テスト・私大入試)で扱われている外国語科目に対応できるだけの能力をつける。 ・大学入試問題(採用している大学のみ)などの演習を実施【長文理解に加えて、背景を学ぶ】 【いろいろなテーマについて内容豊かに描く】 【話し合ったり、討論したりする】 	<ul style="list-style-type: none"> ・文法、語法、構文の演習 ・語彙増強 ・読解力の向上 ・リスニングテストで聞き取り練習 ・各自の必要に応じた力の伸長 ・プレゼンテーションを行う

* 高校生の自由選択科目は受講希望者数によって変更があり得ます。

教科名 外国語科
 科目名 ドイツ語
 対象 2学年選択

I 学習到達目標

- 1 ドイツ語への関心、学習意欲を呼び起こす。
- 2 初歩的なドイツ語を読んで書き手の意向などを理解できるようにする。
- 3 ドイツ語の基本的表現を学習し、それを使って言いたいことを相手に伝えたり、相手の意見を聞いたりする能力を身に付ける。
- 4 ドイツ語が使われている国の人々や生活について学習し、日本との違いや共通点を理解する。

II 授業の進め方（授業形態等）

- 1 2クラス4展開で選択授業を行う
- 2 副教材を活用し基礎を固めるとともに発展的な学習を行う。
- 3 定期的に単語テストや小テストを行い、基礎文法事項の定着をはかる

III 教科書・補助教材

補助教材 「ゲナウ！コミュニケーションのドイツ語 ノイ」第三書房
 その他

IV 学習計画

学 期	月	学 習 内 容		授業時数	備考
		考 査	「教科書」の学習内容 副教材・その他の学習内容		
一 学 期	4	授業内 考査	<ul style="list-style-type: none"> ・ドイツ語の学習の仕方。 ・ドイツ語のアルファベット、発音を学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介で使える簡単な会話表現を身につける。 	2
	5		<ul style="list-style-type: none"> ・スペルと発音 ・基本的なあいさつ・自己紹介をする。 ・ドイツの基本的情報について学ぶ。 ・基本文型について学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な文構造を学習する。 ・ドイツを紹介する資料で基本的知識を得る。 	8
	6 7	授業内 考査	<ul style="list-style-type: none"> ・100までの数字を学ぶ。 ・時計、時間、曜日に関する表現を学ぶ。 ・職業、趣味に関する表現を学ぶ。 ・動詞の人称変化（規則変化）を学ぶ。 ・疑問文の作り方、答え方。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な日常表現を学び、ALTの簡単な質問に答えられるようにする。 ・声に出す反復練習でドイツ語のリズムをつかむ。 ・小テストを実施し、語彙と表現の定着を図る。 	8 2
	夏休み 宿 題		1学期の復習	プリント	
二 学 期	9 10	授業内 考査	<ul style="list-style-type: none"> ・動詞の人称変化を徹底する。 ・天気、色や形を表す表現を学ぶ。 ・形容詞を学ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ・小テストを実施し学んだ単語、文法事項の活用を図る。 ・ドイツの身近な文化（食文化等）を紹介する。 	10 10
	10 11	授業内 考査	<ul style="list-style-type: none"> ・名詞を学ぶ ・値段のきき方、答え方を学ぶ。 ・短い作文に挑戦する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト実施。 ・ドイツ語版DVD（ジブリ映画など）を活用する。 ・ドイツのクリスマスを紹介。 	10 10
		冬休み 宿 題		1~2学期の総復習	<ul style="list-style-type: none"> ・単語プリント（約250語） ・文法プリント
三 学 期	1 2	授業内 考査	<ul style="list-style-type: none"> ・家族や友達を紹介する。 ・道の尋ね方・教え方。乗物を使う場合の表現。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト実施。 ・スピーチの原稿を書き、発表する。 	6 4
					計 70 (2単位)
評 価	以下の観点を総合して評価する。				
	<ul style="list-style-type: none"> ・毎学期の定期考査により、知識・理解度をみる。 ・ドイツ語での簡単な発表活動を通し、表現の能力をみる。 ・小テストや課題提出等を通して、学習意欲をみる。 ・小テストや定期考査などで、ドイツ語や文化についての知識・理解をはかる。 				

外国語科

I スペイン語の学習目標

- (1) 外国語の学習を通じて、外国語とその外国語が使われている文化背景について学ぶ。
- (2) 外国語の学習を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする姿勢を育てる。
- (3) 外国語の学習を通じて、情報や意向を理解し、自己表現する実践的なコミュニケーション能力を身につける。

II スペイン語科の6年間の科目構成と学習内容

		「科目」と学習内容	発展的な内容、特色ある活動、関連する行事等
中学段階	1年	開講せず	開講せず
	2年	<ul style="list-style-type: none"> ・スペイン語の初歩を学習し、挨拶や、身近な事柄についての簡単な会話のやりとりができるようにする。 ・スペイン語を話す国々を知る。 ・スペインの地理や風土、文化の特徴を学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な単語や数字などの聞き取り練習 ・基礎的な文法、語法の演習 ・自分や人を紹介するなどの基本的な文の作成 ・日常生活での場面ごとの短い会話文のロールプレイング
	3年	<ul style="list-style-type: none"> ・中学二年生で学んだスペイン語をさらに発展させて学習し、身近な事柄についてスペイン語で表現できるようにする。 ・スペインの歴史を学ぶ。 ・ラテンアメリカ諸国の地理や風土、文化の特徴を学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・CD教材やラジオ教材、ALTによる聞き取り練習 ・現在形の活用を中心とした文法・語法の演習 ・語彙力の強化 ・身近な事柄についての基本的な文の作成 ・暗唱など口頭発表活動 ・教材内の短いスキットの読解・発音・発表
高校段階	4年	<ul style="list-style-type: none"> ・中学で学んだスペイン語を更に発展させて学習し、より実用的なスペイン語を習得する。 ・自ら考え、表現する態度と能力を身につける。 ・スペイン語技能検定6級の取得を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・CD教材やラジオ教材を使用した聞き取り練習 ・文法・語法の演習 ・語彙力の強化 ・副教材の読解・発音練習 ・作文やスピーチ作成など表現力を強化する活動 ・シャドウイングによる発音練習 ・スペイン語技能検定6級の過去問題の演習
	5年	<ul style="list-style-type: none"> ・4年生で学んだスペイン語を更に発展させて学習し、より応用的なスペイン語を習得するとともに、自分の意見を表現できるようにする。 ・スペイン語技能検定5級の取得を目指す。 ・DELE A1の取得を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・やさしいニュースを聞くなど、聴解力強化 ・文法力の強化 ・語彙力の強化 ・副教材の読解・発音練習 ・作文やスピーチ作成など表現力を強化する活動 ・シャドウイングによる発音練習 ・スペイン語技能検定5級およびDELE A1の過去問題の演習
	6年	<p>大学入試(私大入試)で扱われているスペイン語に対応できるだけの総合的な能力を身につける。 大学入試問題(採用している大学のみ)などの演習を実施する。</p> <p>【長文読解】 【様々なテーマについて内容豊かに書く】 【スピーチ・プレゼンテーション】など。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スペイン語技能検定4級の取得を目指す。 ・DELE A2の取得を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文法、語法、構文の演習 ・語彙力の更なる強化 ・読解力の向上 ・リスニングテスト ・各自、志望校の過去問題を中心とした問題演習 ・スペイン語技能検定4級およびDELE A2の過去問題の演習

* 6年生の自由選択科目は受講希望者数によって変更があり得ます。

教科名 外国語科
 科目名 スペイン語
 対象 2 学年選択

I 学習到達目標

- 1 初歩的なスペイン語を、読んだり、書いたり、聞いたり、話したりできるようにする。
- 2 スペイン語を話す国々を知る。
- 3 スペインの地理や風土、生活、文化について学習し、理解する。

II 授業の進め方（授業形態等）

- 1 2クラス4展開で選択授業を行う
- 2 副教材を活用し基礎を固める。
- 3 定期的に単語テストや小テストを行い、基礎文法事項の定着をはかる

III 教科書・補助教材

補助教材 「スペイン語の入門」白水社
 適宜プリント
 視聴覚教材

IV 学習計画

学 期	月	学 習 内 容		授業時数	備考
		考 査	「教科書」の学習内容 副教材・その他の学習内容		
一 学 期	春休み 宿 題		予定なし		
	4	1 学期 中 間 考 査	・挨拶など簡単な会話表現を学ぶ。 ・つづり字と発音の関係を学習する。	プリント 単語 視聴覚教材	2
	5		・基本的な文構造を学習する。 ・スペイン語圏について幅広く知る。		8
	6	1 学期 期 末 考 査	・名前、出身、職業、住まい、誕生日、年齢の表現を学ぶ。 ・自分を紹介する。	プリント 単語 視聴覚教材	8
7	・相手について質問する。 ・友達を紹介する。 ・数字や月日、曜日、天気 of 表現を学ぶ。 ・色など簡単な形容詞を学ぶ。		テスト	2	
	夏休み 宿 題		1 学期の復習	単語 レポート	
二 学 期	9	1 学期 中 間 考 査	・名詞の性や数について学ぶ。 ・定冠詞・不定冠詞を学ぶ。	プリント 単語 視聴覚教材	10
	10				10
	11 12	1 学期 期 末 考 査	・主格人称代名詞を学ぶ。 ・直説法現在形規則活用動詞を学ぶ。 ・形容詞を学ぶ。	プリント 単語 視聴覚教材 テスト	10 10
	冬休み 宿 題		1, 2 学期の復習		
三 学 期	1	3 学期 期 末 考 査	・時間の表現を学ぶ。 ・日常の様々な場面で使用する表現を学ぶ。	プリント 単語 視聴覚教材	6
	2		・動詞 ser・動詞 estar の直説法現在を学ぶ。	学年末テスト	4
				計 70 (2単位)	
評 価	以下の観点を総合して評価する。 ① 知識・技能 ② 思考・判断・表現 ③ 主体的に学習に取り組む態度				

外国語科

I 中国語の学習目標

- (1) 外国語の学習を通じて、外国語とその外国語が使われている文化背景について学ぶ。
- (2) 外国語の学習を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする姿勢を育てる。
- (3) 外国語の学習を通じて、情報や意向を理解し、自己表現する実践的なコミュニケーション能力を身につける。

II 中国語の6年間の科目構成と学習内容

		「科目」と学習内容	発展的な内容、特色ある活動、関連する行事等
中学段階	1年	開講せず	開講せず
	2年	<ul style="list-style-type: none"> ・中国語の初歩を学習し、日常会話等ができるようにする。 ・中国語の歴史と現代の中国、中国文化の特徴を学ぶ中学一年生で学んだ中国語の初歩をさらに深めた学習し、日常会話等ができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ラジオ教材など聞き取り練習。 ・スキットの作成、発表。 ・文法、語法の演習。 ・日記を書き、基本的な文をかけるようにする。 ・暗唱などの口頭発表活動。
	3年	<ul style="list-style-type: none"> ・中学一、二年生で学んだ中国語をさらに発展させて学習し、日常会話等ができるようにする。 ・中国の歴史と現代の中国、中国文化の特徴を学、その知識をさらに深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ラジオ教材など聞き取り練習 ・スキットの作成、発表 ・文法、語法の演習 ・日記を書き、基本的な文をかけるようにする。 ・暗唱など口頭発表活動 ・副読本を読む
高校段階	4年	<ul style="list-style-type: none"> ・中学で学んだ中国語をさらに発展させて学習し、日常会話等から実際に使うことができる中国語ができるようにする。 ・中国の歴史と現代の中国、中国文化の特徴を学び、その知識をさらに深める。さらに自ら考え表現する能力と態度を身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションを中心とした発展的活動 ・文法、語彙、表現力を強化する活動 ・副読本を読む ・聴解力強化 ・スピーチ、ダイアログを行う
	5年	<ul style="list-style-type: none"> ・中学で学んだ中国語をさらに発展させて学習し、日常会話等から実際に使うことができる中国語ができるようにする。そこから自分の意見を表現できるようにする。 ・中国の歴史と現代の中国、中国文化の特徴を学び、その知識をさらに深める。さらに自ら考え表現する能力と態度を身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションを行う ・やさしいニュースを聞く ・文法、語彙、表現力を強化する活動 ・副読本を読む ・聴解力強化 ・スピーチ、ダイアログを行う
	6年	<p>大学入試(共通テスト・私大入試)で扱われている外国語科目に対応できるだけの能力をつける。</p> <p>大学入試問題(採用している大学のみ)などの演習を実施 【長文理解に加えて、背景を学ぶ】 【いろいろなテーマについて内容豊かに描く】 【話し合ったり、討論したりする】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・文法、語法、構文の演習 ・語彙増強 ・読解力の向上 ・リスニングテストで聞き取り練習 ・各自の必要に応じた力の伸長 ・プレゼンテーションを行う

* 高校生の自由選択科目は受講希望者数によって変更があり得ます。

教科名 外国語科
 科目名 中国語
 対象 2 学年選択

I 学習到達目標

- 1 初歩的な中国語を読んで書き手の意向などを理解できるようにする。
- 2 中国語の基本的な表現を学習し、それを使って言いたいことを相手に伝えたり、相手の意見を聞いたりする能力を身に付ける。
- 3 中国語が使われている国の人々や生活について学習し、日本との違いや共通点を理解する。

II 授業の進め方（授業形態等）

- 1 2クラス4展開で選択授業を行う
- 2 副教材を活用し基礎を固めるとともに発展的な学習を行う。
- 3 定期的に単語テストや小テストを行い、基礎文法事項の定着をはかる

III 教科書・補助教材

補助教材 「高校生からの中国語」 白帝社、 プリント教材

IV 学習計画

学 期	月	学 習 内 容		授業時数	備考
		考 査	「教科書」の学習内容		
一 学 期	春休み 宿 題		予定なし		
	4	授 業 内 考 査	声調（四声）母音と子音 正確な発音の学習	補助プリント ・初歩の中国語を使い、簡単な会 話表現を学ぶ。	2
	5		簡体字の書き方について 名前の言い方、聞き方 数字について	・つづり字と発音の関係を学習す る。 ・基本的な文構造を学習する。	8
	6	授 業 内 考 査	月日の言い方	プリント 単語	8
	7		誕生日、年齢 「是」の肯定文、否定文、疑問文 学校紹介文	暗唱テスト グラマーテスト ・学んだ文法事項の活用を図る。	2
夏休み 宿 題		自己紹介文暗記			
二 学 期	9	授 業 内 考 査	形容詞 形容詞を覚え、作文する	プリント 単語	10
	10		「有」の肯定文、否定文、疑問文 動詞（聞く、見る、食べる、買うなど） スポーツの言い方	暗唱テスト グラマーテスト	10
	10	授 業 内 考 査	反復疑問文（反復疑問文を理解し、作文する） 時間	プリント 単語	10
11	一日のスケジュール 買い物の表現（お金など）		暗唱テスト グラマーテスト	10	
冬休み 宿 題		単語			
三 学 期	1	授 業 内 考 査	職業名	プリント 単語	6
	2		電話会話文 完了を表す“了”アスペクトの理解 道案内、交通手段。	暗唱テスト グラマーテスト	4
				計 70 (2単位)	
評 価	以下の観点を総合して評価する。 ・毎学期の定期考査により、知識・理解度をみる。 ・中国語での簡単な発表活動を通し、表現の能力をみる。 ・小テストや課題提出等を通して、学習意欲をみる。 ・小テストや定期考査などで、中国語や文化についての知識・理解をはかる。				

教科名 総合的な学習の時間
 科目名 **総合的な学習の時間**
 対象 2学年全員

I 学習到達目標

- 1 1年次の学びを土台として、主体的に課題を発見し探究することができる
- 2 仮説を証明するために必要なことを論理的に考えることができる
- 3 探究活動に必要なスキルの基礎を身につける
- 4 キャリア意識を高める

II 授業の進め方（授業形態等）

- 1 修学旅行先の京都と奈良をテーマに探究活動を展開する
- 2 補助教材で探究活動に必要なスキルの基礎を体系的に学ぶ
- 3 1年間の学びのまとめとしてポスターセッションをおこなう

III 教科書・補助教材

教科書なし
 補助教材 岡本尚也「課題探究メソッドStart Book」啓林館、2019年

IV 学習計画

学 期	月	学 習 内 容		授業時数	備考	
		考 査	「教科書」の学習内容			副教材・その他の学習内容
一 学 期	春休み 宿 題	宿 題 テスト				
	4	なし	オリエンテーション	・2学年の学習について	2	
	5	なし	情報の整理 (P20-31) 問いを立てる (P32-51)	・文章をビジュアル化する ・問いの種類を学ぶ	3	
	6 7	なし	研究テーマを決める (P52-67) RQと仮説を立てる (P68-79)	・京都奈良と関連したテーマを決める ・テーマをふまえて、RQと仮説を複数考える	3 3	
夏休み 宿 題	なし	白鷗祭に向けた事前学習	・テーマをふまえた調べ学習			
二 学 期	9 10	なし	中間発表に向けリサーチクエストと仮説を立てる 仮説検証に向けて 研究計画書の書き方	・12月の発表に向けて、RQと仮説を考える ・仮説の検証に必要なことを学ぶ ・計画書のひな型を学ぶ	3 1	
	11 12	なし	中間発表準備 職場体験ふりかえり 中間発表	・中間発表に向けてパワーポイントと発表原稿を作る ・体験で学んだことを共有する ・研究計画を発表する	3 (8)	()は まとめ取りの 時数を含む
	冬休み 宿 題	なし				
	三 学 期	1 2 3	なし	調査実施に向けて 調査結果をふまえ考察する (P88-89) ポスターセッション準備 ポスターセッション	・京都奈良での調査に必要なことを確認する ・調査結果をふまえて研究の結論をまとめる ・最終発表に向けたポスター制作 ・研究の成果を発表する	3 2 (4)
				計 35 (1単位)		
評 価	<ul style="list-style-type: none"> ・1年次の学びを土台として、主体的に課題を発見し探究していこうという姿勢が見られるか ・設定したリサーチクエストの仮説を証明するために必要なことを論理的に考えることができるか ・探究活動に必要な力を身につけているか ・社会の変化や仕事の多様性について見識を広げようとしている 					

道徳

I 道徳の時間の学習目標

生命の尊さを理解し、自他を尊重する豊かな心と、正しく判断し自分の行動に責任をもつ態度を育成するとともに、集団の一員としての自覚と規範意識を高める。

II 道徳の時間の3年の科目構成と学習内容

	「科目」と学習内容・配慮すべき事項	特色ある活動（指導の観点）、関連する行事等
1年	<p>[1学年の重点内容項目]</p> <p>(1) 日常生活から様々な機会を捕らえて、人を思いやる心を育てる</p> <p>(2) 公衆道徳を身に付ける</p> <p>[1学年段階で配慮すべき事項]</p> <p>(1) 心身の健康に心がけ、節度のある生活態度を育てる</p> <p>(2) 他者の立場を理解し、思いやる心を育てる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳授業地区公開講座 ・体育祭 (自主・自立、向上心、友情・信頼) ・白鷗祭 (思いやり、相互理解・寛容、集団生活の充実) ・上野・浅草探究活動 (礼儀、郷土の伝統と文化の尊重、国際理解) ・職業講話 (礼儀、勤労)
2年	<p>[2学年の重点内容項目]</p> <p>(1) 様々な教育活動を通して思いやり、協調、やさしさ、生命の尊さ等の道徳的心情を育てる</p> <p>[2学年段階で配慮すべき事項]</p> <p>(1) 自己の役割と責任を自覚して、集団生活の向上に努める意欲を育てる</p> <p>(2) 互いに高め合い励まし合える友情を育てる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳授業地区公開講座 ・農業体験 ・体育祭 (自主・自立、向上心、友情・信頼) ・白鷗祭 (思いやり、相互理解・寛容、集団生活の充実) ・国内宿泊行事 (礼儀、郷土の伝統と文化の尊重、自然愛護) ・職場体験 (礼儀、社会参画、勤労)
3年	<p>[3学年の重点内容項目]</p> <p>(1) 主体的に生きていく力を育てる</p> <p>(2) 相手の立場になって考える力を育てる</p> <p>(3) 様々な場面や機会をとらえて道徳的心情を育てる</p> <p>[3学年段階で配慮すべき事項]</p> <p>(1) 相手の立場を認め、助言や忠告を謙虚に受け入れ、自己の向上に生かそうとする態度を育てる。</p> <p>(2) 地域から国際社会にまで目を向け、社会に貢献しようとする態度を育てる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳授業地区公開講座 ・校外学習 ・体育祭 (自主・自立、向上心、友情・信頼) ・伝統文化体験 (礼儀、我が国の伝統と文化の尊重、国際理解) ・白鷗祭 (思いやり、相互理解・寛容、集団生活の充実) ・(集団生活の充実、我が国の伝統と文化の尊重) ・国外研修旅行 (集団生活の充実、自文化と異文化の尊重) ・上級学校訪問 (自主・自立、克己と強い意志)

III 道徳の時間の指導方針・指導の工夫

(1) 指導方針

- ・年間指導計画に基づき、生徒や学級の実態に即して指導する。
- ・各教科、特別活動及び総合的な学習の時間等の関連を踏まえて指導する
- ・生徒一人一人が、自分の問題として受け止められるように指導する。

(2) 指導の工夫

- ・教科、特別活動の関連を深め、様々な場面で関連した指導を進める。
- ・道徳性を養い、判断基準を高めることで、社会的現実を照らし、よりよい生き方を主体的に選択し行動する力を養う指導を進める。
- ・様々な体験活動を通して、生徒が自ら道徳的意味に気づくように指導する。
- ・ICT機器を活用し、生徒の興味、関心を高めながら指導する。
- ・「心見つめて」「私たちの道徳」や副読本、資料等の活用を工夫し、指導の充実を図る。
- ・保護者、地域、関連諸機関との連携を深め、指導に役立てる。

教科名 道徳
 科目名 道徳
 対象 2学年全員

I 学習到達目標

・生命の尊さを理解するとともに、自然を愛護し美しいものに感動する豊かな心と、正しく判断し自分の行動に責任をもつ態度を育成する。また、集団の一員としての自覚と規範意識を高めさせる。
 ・今後の志を立てられるように自分の生き方を考えさせる。一方で、異なる考え方を尊重する態度を身に付けさせ、幅広い視野で物を考えられる人物を育成する。

II 授業の進め方（授業形態等）

- 1 道徳教育の全体計画に基づき、各教科、総合的な学習の時間及び特別活動との関連を考慮しながら行う。
- 2 生徒の学習状況や道徳性に係る成長の様子を継続的に把握し、指導に生かすよう努める必要がある。
- 3 数値による評価は行わないものとする。

III 教科書・補助教材

教科書 「中学道徳 自分を考える」廣済堂あかつき
 補助教材 「私たちの道徳」文部科学省、「心みつめて」東京都教育委員会

IV 学習計画

学期	月	学習内容		授業時数	備考	
		考査	「学習指導要領」の学習内容			教科書等の学習内容
一学期	4		A 向上心、個性の伸長	7		
	5		B 礼儀 D 自然愛護 A 自主、自律、自由と責任 A 真理の探究、創造 B 相互理解、寛容 A 節度、節制			1 虎 2 いつでも・どこでも・誰とでも 3 樹齢七千年の杉 4 ジョイス 5 ガストロカメラ 6 野生の猛禽を守るために 7 これは駄目？これも駄目？
一学期	6		B 思いやり、感謝 C 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度 C よりよい学校生活、集団生活の充実 C 遵法精神、公德心	7		
	7		C 勤労 A 自主、自律、自由と責任 C 社会参画、公共の精神			1 1ありガトオヨ 1 2相馬野馬追の季節 1 3明かりの下の燭台 1 4仏の銀蔵 1 8加奈子の職場体験 2 2お前のカワウソがさびしがっているぞ 3 0迷惑とは何ぞ
二学期	9		A 希望と勇気、克己と強い意志 C 公正、公平、社会正義 B 友情、信頼 D よりよく生きる喜び C 家族愛、家庭生活の充実	6		
	10		B 思いやり、感謝			1 0「キング」と呼ばれる理由 - 三浦知良 - 1 5嵐のあとに 1 6小さなこと 1 7ネパールのビール 1 9尊い玉子 2 0人間であることの美しさ
	10		D 生命の尊さ C 遵法精神、公德心	8		
11		A 自主、自律、自由と責任 D 生命の尊さ D よりよく生きる喜び	8 燃え盛る炎 2 1傘の下 2 3路上に散った正義感 2 4天使の舞い降りた朝 2 5タッチアウト			
12		B 思いやり、感謝 C 家族愛、家庭生活の充実 C 我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度	2 6最後の年越しそば 2 7一冊のノート 2 8国			
三学期	1		C 公正、公平、社会正義 A 希望と勇気、克己と強い意志 B 友情、信頼	7		
	2		D よりよく生きる喜び C 国際理解、国際貢献			9 君、想像したことある？ 2 9本物の将棋指し - 村山聖 - 3 1アイツとセントバレンタインデー 3 2足袋の季節 3 3最も悲しむべきことは、病めることでも貧しいことでもなく
	3		B 思いやり、感謝 D 生命の尊さ			3 4地図のある手紙 3 5看取りの医者
				35		
評価	生徒の学習状況や道徳性に係る成長の様子を継続的に把握し、指導に生かすよう努める。 「ワークシートの記入」をさせることにより、授業における理解度をはかる。 「授業内の発言」をさせることにより、授業における態度をはかる。 A 主として自分自身に関する事 B 主として人との関わりに関する事 C 主として集団や社会との関わりに関する事 D 主として自然や崇高なものとの関わりに関する事					